

平成29年度 事業報告

当協議会は、「誰もが住み慣れた地域で、安全・安心に暮らしていただけること」を基本に、地域の皆様がそれぞれの地域で自立し、共に生きることができる地域社会、「支え合い助け合いのある顔の見えるまち かめおか」の実現を目指し、各事業に取り組んでいます。

今日、社会を取り巻く状況は、急速に進行する少子高齢化や社会・経済状況の大きな変化に伴い、地域や家庭で支え合い助け合う関係が希薄化し、孤独死やひきこもりなどの「社会的孤立」、子どもや高齢者への「虐待」などの痛ましい事象が顕在化しています。

このような状況の中で、従来からの福祉課題である「生活困窮」の他に「社会的孤立」「虐待」など、既存の福祉制度等の狭間から生じる社会的課題に対しましては、各地域の課題を把握し、地域及び関係機関・団体の方々と協働して問題解決に取り組みました。

当協議会では、地域福祉の推進をより一層進めるため平成28年度に策定した「改定版かめおか地域福祉活動計画」に基づく「人づくり」「絆づくり」「地域づくり」「基盤づくり」の4つの基本目標達成のため各事業を実施しました。

平成29年度の各事業につきましても、常に住民の皆様と同じ目線に立ち、自治会関係者、民生委員児童委員、社会福祉施設、福祉関係団体、ボランティア団体及び福祉関係者など多くの皆様、そして亀岡市をはじめ行政機関のご理解、ご協力及びご支援をいただき、地域福祉の更なる推進、利用者個々のニーズに応じたより質の高い介護保険サービス等の提供に向け各事業を実施しました。

また、平成29年度においては、社会福祉法の改正に伴う、社会福祉法人の新たな制度等が施行された初年度であり、当協議会におきましても経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革に向け取り組みを進めたところです。

平成29年度も当協議会の事業推進のため、多くの市民の皆様等から尊い寄付金・寄付の品々、また、市民福祉のつどい開催における協賛金等をいただき心から厚くお礼申しあげます。

以下、平成29年度の各事業につきましても、その概要を報告します。

平成29年度 事業概要

※事業項目の横に次のロゴで財源を記載しています。

亀岡社協	社協会費等の自主財源や基金の運用益	赤い羽根	毎年10月～3月にかけて実施する「赤い羽根共同募金」の配分金
歳末募金	毎年12月に実施する「歳末たすけあい募金」配分金	利用料	参加者や利用者の負担金
補助委託	亀岡市や京都府社協からの委託金や補助金、助成金により実施する事業	介護保険	介護保険事業収入
障害福祉	障害福祉サービス等事業収入		

※地域福祉活動計画の各事業については、事業名の横に次のロゴで目標を記載しています。

人づくり	基本目標1・地域福祉の担い手を育む「人づくり」	絆づくり	基本目標2・共に支え合う地域の「絆づくり」
地域づくり	基本目標3・住民主体の地域福祉を推進する「地域づくり」	基盤づくり	基本目標4・社協活動への理解と参画を広げる「基盤づくり」

1. 法人運営

亀岡社協

基盤づくり

平成29年度も急速な少子高齢化や核家族化などの影響を受け、地域コミュニティに大きな変化がある中、地域の多様な福祉ニーズに対して、効果的に事業を実施するために、地域福祉を推進する社会福祉法人として、安定的な財源確保を図りながら法人運営の基盤強化に努めました。

当協議会の運営・財政基盤である会費につきましては、人口増加が見込めない厳しい状況の中で、多くの市民、企業及び各種団体の方々にご理解とご協力をお願いし取り組みを行ったところ、総額9,770,510円のご協力をいただきました。

寄付金関係につきましては、一般寄付と指定寄付を合わせて総額991,206円の寄付金及び多くの皆様から物品のご支援を賜りました。

また、平成29年度からの新たな取組みとして、「ふくかめ自動販売機」（寄付付き自動販売機）の設置を積極的に推進し、自治会及び設置関係者、自動販売機事業所のご理解とご協力のもと、4件設置することができました。

なお、当協議会の活動を多くの市民の方々へ周知するため、各種事業・行事の開催などにつきまして、積極的にホームページ・フェイスブック・社協かめおか等で広報活動を行いました。

2. 地域福祉推進事業

亀岡
社協

赤い
羽根

補助
委託

利用
料

絆づくり

地域づくり

経済・雇用状況において、政府の月例経済報告では緩やかに回復しているとされていますが市民生活において実感がない中で、市民生活を支える生活福祉資金などの貸付相談をはじめ、くらしのサポートサービスや福祉サービス利用援助事業に積極的に取り組みました。また、ひきこもりや社会的孤立問題など、地域の福祉コミュニティにおける課題に対しても重点を置いて取り組みました。

(1) くらしのサポートサービス事業

市民の参加と協力によるボランティア会員により、公的な福祉サービスの利用が困難な世帯へ家事援助や外出同行などのサービスを有償で提供しており、年度末利用者数は65名（前年度比5名増）となりました。

(2) 生きがい活動支援通所事業（高齢者介護予防拠点活動支援事業）

平成29年度より高齢者介護予防拠点活動支援事業に名称変更となり、毎回、体操を取り入れるなど従来よりも介護予防に重点を置いた取り組みを行いました。併せて、高齢者の生きがいや健康づくりの一環として、日常動作訓練や趣味、レクリエーションなどの機会を提供することにより、心身の健康保持に努めました。活動回数は47回で延利用人数は417人（前年度比△37人）となりました。

(3) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力の不十分な方が地域で自立した生活を送れるよう、当協議会専門員及び生活支援員が契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の支援を行いました。年度末利用者数は39名で、前年度と比較し1名減少しました。

また、活動回数も利用者個々の状況により、年間延べ1,111回（前年度比△36回）と減少しましたが、お一人ひとりの抱える課題が重層かつ複雑化してきており、1件に関わる時間は増加傾向となっています。

(4) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯、障がい者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにすることを目的とし、各地域の民生委員児童委員の方々と連携し資金貸付けを行いました。

近年の経済・雇用状況が改善する中で、生活福祉資金の相談件数・貸付件数は減少

傾向にありましたが、平成 29 年度については一転増加に転じました。平成 29 年度については総合支援資金・福祉資金・教育支援資金合わせて計 50 件、総額 18,619,000 円（前年度比+8 件、+3,432,000 円）の貸付となりました。

(5) 福祉金庫資金貸付事業

市民を対象に、自立更生が可能な世帯、特に必要と認める要援護世帯などに少額の資金を貸付けることにより、生活の安定に寄与し社会福祉の増進を図ることを目的とした当協議会独自の貸付制度です。平成 29 年度の福祉金庫貸付実績は合計 13 件で、総額 260,000 円（前年度比+5 件、+100,000 円）の貸付となりました。

(6) 地域支えあい事業（生活支援体制整備事業）

平成 29 年度亀岡市生活支援体制整備事業を受託する中で、これまで市行政と連携をとりながら、地域資源・ニーズの把握・地域資源の開発・ネットワークの構築・ニーズと取り組みのマッチング等に取り組みを進め、2025 年迄の亀岡市における地域包括システムの構築を目指しています。とりわけ、協議体の在り方を考える学習会においては、今後の亀岡市における市民主体によるまちづくりを進める核となる亀岡市が設置する「協議体」のあり方を考える場として、20 名の市民主体となる自主的な学習会を支援してきました。

① 生活支援コーディネーターの選出・配置及び活動

社会福祉協議会職員が生活支援コーディネーターとして、3 名体制の配置を確保しつつ、亀岡市と連携しながらモデル地域への取り組みを進めてきました。

今後の生活支援コーディネーターの配置についても意見交換、勉強会を行い、連携を深めてきた結果として 3 月 29 日の市協議体研究会に 3 名の候補者を報告出来たところです。

② 第 1 層協議体設置に向けての活動

第 1 層協議体設置について、月に 1 回の勉強会で「亀岡流」の協議体設置への模索を続ける中、住民主体の「やらされ感のないまちづくり」を考えるための協議体として、市が設置を目指す協議体委員に対して勉強会メンバーから 5 名を推薦していきたいとの確認ができ、3 月 29 日の市協議体研究会に候補者 5 名を推薦できました。

まちづくり勉強会に個々に参加されてきた方ですが、自治会役員や民生委員さんとして活動されている方、NPO 等で支援活動をされている方、老人クラブやボランティア団体として、あるいは事業者、一市民の活動等、様々な立ち位置の方々が集まっていた

だいており、この広範囲の立ち位置の方々の集まりは、これからのまちづくりを考える上でも、これまでのまちづくりにない大きなネットワーク力を期待できるものと思います。

③ 亀岡市他関係機関との連携・協議

事業の推進にあたっては、本年度も市高齢福祉課との連携協議を重ねながら事業に当たってきました。また、NPO 法人でまちづくりに取り組まれている、市民活動推進センター等との連携を深め、生活支援コーディネーター候補の選出が出来たことは大きな成果であったと思います。

(7) 福祉生活課題解消支援事業

地域における深刻な生活課題に向けた取り組みとして、既存の福祉サービスでは対応困難な事案の解決に向け、行政をはじめ関係機関とのネットワークにより、取り組む体制を構築する事ができました。

(8) 社会的孤立防止対策見守り活動事業

地域から孤立していると思われる人の発見、相談支援、見守り等を中心とした個別支援と、社会的孤立防止対策としての地域の理解促進を目的に平成 26 年度から事業を展開しています。個別支援における相談件数は 36 件（対応回数は 107 回）で、一方の側面での支援のみならず、他にも生活しづらい課題があるのではないかとという視点で相談を実施するとともに、出張相談窓口を亀岡駅近くの事業所にも開設しています。

また、福祉の出前講座として、小さい単位で地域に出向き地域住民の皆さんやサロン参加者へ理解をしてもらうための講座を開催し、通報活動等への協力を求めました。これらの取組みの他、出前講座として、商店街やライフライン事業者である保険会社や郵便局職員向けに講座を行い、見守り通報活動等への協力を求めました。

さらに、モデル地区の民生委員児童委員の方を対象に困難な事例に関する情報の共有、解決に向けて連携が取れるよう協力を求めました。また、研修を受けたサポーターが対象者宅を訪問し、傾聴、情報提供活動を行いました。

見守りの対象となりがたい年代への支援として、ひきこもりに悩むご家族の方を対象にした家族教室を 5 回シリーズで開催すると同時に個別相談にも応じる体制を整えました。

(9) 福祉用品貸出事業

介護用品等貸出事業として、介護用品などを市民の日常生活の維持に供するため、ベッド 35 件（前年度比+13 件）、車イス 132 件（前年度比+21 件）の貸出を行いました。

また、地域で実施されるサロン活動、子ども会、地区社会福祉協議会、福祉協力校等への支援を目的に、合計で 126 件（前年度比△4 件）のレクリエーショングッズや備品貸出を行いました。

3. 福祉コミュニティ推進事業

亀岡
社協

赤い
羽根

補助
委託

絆づくり

地域づくり

(1) 地区社会福祉協議会の推進及び支援

地区社会福祉協議会は市内 12 地区で組織されており、研修会への参加促進や助成金支援等、各地区社会福祉協議会の活動支援を積極的に行うとともに、設立されていない地区につきましても、引き続き地域のニーズを把握し、地域の実情に応じた組織づくりへの支援を行いました。

(2) 地域サロン活動の推進

サロン活動とは、生きがい活動と元気に暮らすきっかけをつくり、地域の見守り活動も兼ね、地域住民のつながりを深める活動であり、各地域ではサロン活動が活発に行われ広がりをみせています。年間を通じての随時訪問や研修・交流会を実施し支援を行いました。

(3) 小地域福祉活動の推進

一人暮らし高齢者世帯等の戸別訪問や、サロン活動による見守り等によって高齢者の孤立・孤独を防ぎ、安心・安全な地域づくりを目指す活動の強化（拡充）を図るため、自治会、地区社協等計 14 団体（6 自治会、4 地区社協、老人クラブ・NPO 等 4 団体）に訪問見守りボランティア強化事業の支援助成を行いました。

4. ボランティア活動支援事業

亀岡
社協

補助
委託

人づくり

ホームページ、社協かめおか等で、ボランティア活動の情報提供によるボランティア

団体への支援とともに、活動を推進するための講座を開催しました。また、平成 28 年度に見守り、相談支援の必要な人に対して寄り添い支援を行う“社協寄り添いサポーター”講座を行いました。今年度はその講座を受けたサポーターが、対象者宅を訪問し、傾聴や情報提供活動を行いました。

平成 29 年度はボランティアグループ、個人ボランティアの方々を対象とした『ボランティア 7 の日』を設定し、毎月 7 の日に講座を開催し、パソコンのスキルアップと活動のレベルアップの支援を行う中、ボランティアグループ同士の繋がりや関係づくりの支援を行いました。

また、ボランティアセンターを紹介するブックレットを作成するなど、ボランティア活動を側面から支援する活動を行いました。

空き缶のプルタブやペットボトルのエコキャップ、使用済切手やプリペイドカード等の“集めておくるボランティア”活動は、多くの市民の皆さんのご協力により寄付をいただき、プルタブで 367.7 キロ（昨年度比△311.2 キロ：800 キロで車椅子 1 台と交換）、エコキャップも開発途上国のポリオワクチン代（キャップ 800 個でワクチン 1 人分）として寄附するため約 408,000 個を収集することができ、それぞれ再資源化業者へ送付しました。

また、災害ボランティアセンターについては、本年度初めて日本赤十字社の救護訓練と災害ボランティアセンターの立上げ運用訓練を合同で実施し、協力体制の充実と強化及び防災関係機関との連携を図ることが出来ました。また亀岡市総合防災訓練の参画により、「亀岡市災害ボランティアセンター運用訓練」を行ない、災害時の速やかな初動体制への移行及び円滑なセンター活動のための活動訓練を実施し、平常時の体制強化を図ることが出来ました。

有事の際の地域での取組みとして、つつじヶ丘地区民児協で取組みされた「要配慮者の救護・誘導について」の訓練に参加させて頂き、この地域での災害時の民生委員としての動きの確認や協力体制について一緒に検討することが出来ました。

防災に意識を向けて頂く取組みを年間通して、各関係機関等と連携し、防災・減災に向けた取組みを行うことが出来ました。

5. 福祉教育



絆づくり

福祉協力校の指定を受けた市内小中学校において今年度は19校が、各学校での福祉活動をサポートするため、障がい者・高齢者の方への理解を目的とした福祉ボランティア体験事業を実施するとともに、中学生及び高校生を対象とした社会福祉体験学習事業を実施しました（参加者高校生1名）。

6. 各種団体への支援



絆づくり

① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における地域福祉・在宅福祉の増進に寄与するため、各施設に関わる諸問題について協議し、各施設間相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。

② 亀岡ボランティア連絡協議会

市内におけるボランティア活動の効率的、効果的な推進のために亀岡市ボランティアセンターと協働して、ボランティア、ボランティアグループおよび福祉施設相互の緊密な連絡調整を行っています。また、組織的に市民へのボランティア活動の啓発を行うなど、ボランティア活動ならびに社会福祉の向上に努めることを目的として活動しています。

③ 亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障がい児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開し、障がい児者福祉への理解と発展のため積極的に取り組まれています。会員は約235家族で、会議への出席や事業支援を行っています。

④ 亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域52の老人クラブが加盟する約2,600名の組織であり、その事務局として、年間を通じて行われる様々な事業の開催や、事業活動・団体運営の援助等を行っています。

⑤ 亀岡市母子寡婦福祉会

母子家庭や寡婦の皆さんが安心して暮らせる福祉社会を目指し、同じ立場の親子の「つながり」の輪が広がる諸活動への支援を行っています。

7. 介護保険事業



介護サービス事業者として、通所介護・訪問介護・居宅介護支援事業の3事業を行い、「中重度の利用者を受け入れる体制づくり」や「利用者の視点に立ったきめ細やかなサービスの提供」に心がけ、中重度加算を含めた健全な事業運営に努めた結果、介護保険収入は総額 82,340,038 円（前年度比△3,007,940 円）となりました。

(1) 訪問介護（ホームヘルプ）事業

介護保険における要支援者や要介護者宅に訪問介護員（ヘルパー）が訪問し、入浴・排泄・食事などの介助や日常生活上の支援を行い、年間利用者人数は 588 名（前年度比△8 名）となりました。

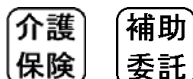
(2) 通所介護（デイサービス）事業

介護保険における要支援・要介護認定の利用者へ、送迎・入浴・食事・健康チェック・外出やレクリエーションなどを通じて、心身の機能維持・向上と日々介護する家族の精神的・身体的負担の軽減となる様々なサービスを実施するとともに、保育園児や子育て支援センターとの交流、調理やクラフト、グループ体操等サービス内容の充実に努め、1 日平均 18 名の方に利用していただきました。

(3) 居宅介護支援（ケアプラン作成）事業

介護保険における要支援・要介護認定の相談援助、ケアプラン作成などを行い、利用者や家族等の様々な状況やニーズに応じたきめ細かな介護サービスを提供できるよう関係機関等との連絡・調整を行ないました。担当件数は年間 822 件（前年度比△66 件）でした。また、亀岡市の高齢福祉サービスの利用等に関しての在宅介護支援センター業務も行っており、相談件数は電話、訪問等を含め 73 件（前年度比+8 件）でした。

8. 障害者自立支援給付事業



《ホームヘルプ事業》

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業として、障がい者の方が自宅で安心・安全に生活を送ることができるよう、訪問介護員（ヘルパー）が入浴・排泄・食事などの支援を行い、専門機関と連絡・連携を図りながら利用者個々の状況に応じた適切なサ

ービスの提供に努めました。その結果、年間利用者数は 361 名、収入は 33,730,696 円（前年度比+1,691,814 円）となりました。（受託事業 ガイドヘルパー派遣事業、生活サポート事業収入含めての収入）

9. 子育て支援事業

補助
委託

(1) 子育て支援事業

子育て家庭が安心して子育てができる環境を整え、家庭における子育て力を高めるため、ひろば事業(1日平均82名利用)、つどい事業(年間77回開催)、相談事業(「おひさま」:年間469件〔前年度比△58件〕の相談に対応)の各種事業や情報提供を行いました。特に、相談事業については、利用者支援事業として専門員によるきめ細かな対応ができました。また、地域における子育て支援として、つどい事業の一環である『かめおかっこ出前ひろば』は、民生委員・児童委員や主任児童委員をはじめ地域の方々のご協力を得て4箇所で開催し、各地域の高齢者の方々や小学生と交流する機会も増える中、地域に根付いた事業として定着しています。今年度は延べ9回の開催で、参加者は327名(前年度比+8名)でした。

今年度も妊婦からの子育て支援として、妊婦来館推進事業を保健センターと連携し行いました。妊婦さんにプレゼントするおもちゃ(にぎにぎ)の製作には地域の方を中心に多くの方々に関わっていただき、事業への理解が深まりました。

今年度の登録者は80名(前年比+35名)となっています。

これらの子育て支援事業の他に情報誌「かめおかっこひろば おたより」などを通じた情報発信や子育てサークル・サロンの支援、チャイルドシート貸出事業を行っています。

なお、ふれあいルーム開館日数は延べ306日で、来館者数は延べ25,196名(前年度比+698名)となりました。

(2) ファミリー・サポート・センター事業

学童保育時における迎え、保育園・幼稚園の帰宅後の預かりや習い事の送迎など、仕事と育児を両立されている家庭への支援として、年間1,760件(前年度比△756件)の支援活動を行いました。

また、まかせて会員講習会も年11回開催し、子どもの安全や身近な事故の応急手当等について研修を行ったところ、延べ162名(前年度比+1名)の会員が参加し、日

常の活動に役立てていただきました。

10. 市民福祉のつどい

亀岡
社協

補助
委託

絆づくり

平成 29 年 10 月 15 日、ガレリアかめおかとふれあいプラザにおいて「つながり合おう地域の輪 かめおかの輪」をテーマに、『第 30 回市民福祉のつどい』を当つどい実行委員会の主催により、「ふれあいフェスティバル 2017」（第 36 回亀岡市障害者福祉大会）と合同で開催しました。

当日は約 3,000 名の世代を超えた人々が来場されました。会場では福祉に関する相談会や災害ボランティアセンターコーナー、デイ部会合同作品展、アトラクション等多彩な催しにより交流を図りました。

なお、チャリティーバザー・模擬店の売り上げの一部を共同募金会へ寄付しました。

11. 共同募金事業

赤い
羽根

地域づくり

基盤づくり

赤い羽根共同募金については、各町自治会を中心に、市民の方にご協力いただいています。

より多くの市民の方にご理解とご協力いただき募金強化を図るため、イベント募金活動、赤い羽根共同募金機能付き自動販売機の設置、募金百貨店プロジェクト（寄付つき商品）の推進を積極的に行いました。

市民の方々にご協力いただいた募金やイベント募金、自動販売機、寄付つき商品を通じての募金については、福祉活動事業を実施する団体へ助成しました。

助成にあたっては、ホームページや社協かめおかで募集を行い、事業内容を審査委員会で審査、企画調整部会で承認後、70 団体、合計 4,776,000 円の配分金を助成しました。

12. 歳末たすけあい運動

赤い
羽根

地域づくり

基盤づくり

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、平成 29 年 12 月 1 日から 1 ヶ月間、亀岡市自治会連合会をはじめ各種団体のご

協力のもと、「みんなで支えあう あったかい地域づくり」をスローガンに実施しました。運動期間中の12月2日(土)には、各団体の協力により市内16箇所で街頭募金を行い、また、各自治会の協力による地域募金なども合わせ、総額7,714,210円の歳末募金を集めることができました。

歳末募金の使途につきましては企画調整部会で審議し、寝たきり・認知症高齢者、重度障がい児者、交通遺児、被爆者、公害患者並びに生活困窮世帯の方々へ在宅見舞金として合計986件、4,930,000円を支給するとともに、物品寄付としていただいたタオル・石鹸・ティッシュペーパー等を市内福祉施設19箇所へ配分しました。

さらに、身近な地域でのひとり暮らし高齢者の方などを対象とする地域での援助活動として、各町自治会、各地区社協及び民生委員児童委員協議会の皆様のご協力で実施した年末年始事業に、合計2,299,000円を助成しました。

平成29年度 諸事業の詳細

1. 法人運営

(1) 会議の開催状況

ア. 理事会

年月日	場所	出席者	案 件
第1回 平成29年 5月26日(金)	ふれあい プラザ	9名	1. 平成28年度事業報告について 2. 平成28年度社会福祉事業決算について 3. 平成28年度公益事業決算について 4. 顧問の選任について 5. 役員候補者の選出について 6. 常務理事の選任について 7. 評議員の同意について
第2回 平成29年 6月16日(金)	ふれあい プラザ	13名 〔監事 3名を 含む〕	1. 会長、副会長の選任について 2. 常務理事の選任について
第3回 平成29年 8月30日(水)	ふれあい プラザ	13名 〔監事 3名を 含む〕	1. 当協議会の人事体制について(4月以降) 2. 各事業の進捗状況について(4月～8月) 3. その他
第4回 平成29年 12月18日(月)	ふれあい プラザ	12名 〔監事 3名を 含む〕	1. 平成29年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 平成29年度公益事業資金収支予算について 3. 規程及び規則の一部改正について
第5回 平成30年 3月30日(金)	ふれあい プラザ	12名 〔監事 3名を 含む〕	1. 平成29年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 平成30年度事業計画について 3. 平成30年度社会福祉事業資金収支予算について 4. 平成30年度公益事業資金収支予算について 5. 常務理事の選任について

イ. 評議員会

年月日	場所	出席者	案 件
第1回 平成29年 6月16日(金)	ふれあい プラザ	20名 〔監事 2名を 含む〕	1. 平成28年度事業報告について 2. 平成28年度社会福祉事業決算について 3. 平成28年度公益事業決算について 4. 理事の選任について 5. 監事の選任について
第2回 平成29年 12月18日(月)	ふれあい プラザ	20名 〔監事 2名を 含む〕	1. 平成29年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 平成29年度公益事業資金収支補正予算について 3. 規程及び規則の一部改正について

年月日	場所	出席者	案 件
第3回 平成30年 3月23日(金)	ふれあい プラザ	17名 〔監事 1名を 含む〕	1. 平成29年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 平成30年度事業計画について 3. 平成30年度社会福祉事業資金収支予算について 4. 平成30年度公益事業資金収支予算について 5. 理事の選任について

ウ. 部会

◎企画調整部会

年月日	場所	出席者	案 件
第1回 平成29年 7月10日(月)	ふれあい プラザ	6名	1. 平成29年度社会福祉協議会会員(会費)募集について 2. その他
第2回 平成29年 8月30日(水)	ふれあい プラザ	7名	1. 平成29年度共同募金配分金助成事業の助成団体審査・決定について 2. 平成29年度歳末たすけあい運動について
第3回 平成30年 3月2日(月)	ふれあい プラザ	8名	1. 平成29年度歳末たすけあい運動募金の配分実績について 2. 平成30年度共同募金配分金助成事業について 3. その他

◎地域福祉部会

年月日	場所	出席者	案 件
第1回 平成29年 12月15日(金)	ふれあい プラザ	6名	1. 平成29年度地域福祉事業の事業報告について

◎ボランティア福祉部会

年月日	場所	出席者	案 件
第1回 平成29年 9月15日(金)	ふれあい プラザ	7名	1. 平成28年度亀岡市ボランティア基金助成金の報告について 2. 平成29年度亀岡市ボランティア基金助成金の交付決定について

◎共同募金配分金助成事業 審査・検討委員会

年月日	場所	出席者	案 件
第1回 平成29年 8月23日(木)	ふれあい プラザ	6名	1. 委員長および副委員長の選出について 2. 平成29年度共同募金配分金助成金申請概要、審査の方法説明 3. 審査

エ. 監査

年月日	場所	出席者	案 件
平成29年 5月10日(木)	ふれあい プラザ	4名	1. 平成28年度社会福祉事業及び公益事業決算の監査

オ. 正副会長会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 平成29年 5月18日(木)	ふれあい プラザ	3名	1. 平成28年度事業報告について 2. 平成28年度社会福祉事業及び公益事業決算について 3. 顧問の選任について 4. 評議員の選任について 5. 監事の選任について
第2回 平成29年 6月30日(金)	ふれあい プラザ	3名	1. 部会・委員会の構成について 2. その他
第3回 平成29年 10月5日(木)	ふれあい プラザ	3名	1. 平成29年度亀岡市社協会長表彰について 2. その他
第4回 平成29年 12月15日(金)	ふれあい プラザ	3名	1. 平成29年度補正予算について 2. 一部規程改正について 3. その他
第5回 平成30年 3月16日(金)	ふれあい プラザ	3名	1. 3/23(金)開催 理事会、評議員会 議題について ・平成29年度補正予算について ・平成30年度事業計画について ・平成30年度社会福祉事業当初予算について ・平成30年度公益事業当初予算について 2. その他

(2) 社協組織の強化

ア. 社協会員・会費の年度推移

年 度	会 員 数 (人)	会 費 (円)
平成27年度	15,112	9,956,950
平成28年度	15,817	9,953,650
平成29年度	15,368	9,770,510

【会費区分別内訳】

町 別 施設区分	賛 助 会 員				一 般 会 員			その他	会員数	会 費 額	28年度		
	D 20	C 10	B 5	A 3	C 2	B 1	A 0.5				会員数	会 費 額	
亀岡東部地区	0	0	0	0	0	0	1,524	0	1,524	762,000	1,525	786,750	
亀岡中部地区	0	0	0	0	0	0	1,158	17	1,175	582,210	1,096	554,700	
亀岡西部地区	0	0	0	0	0	0	876	1	877	438,300	875	371,000	
東別院町	0	0	0	0	1	178	208	0	387	284,000	404	305,500	
西別院町	0	0	0	0	0	0	206	0	206	103,000	231	115,500	
曾我部町	0	0	0	0	0	7	801	0	808	407,500	879	447,000	
吉川町	0	0	0	0	0	1	145	34	180	83,700	186	93,600	
蕨田野町	0	0	0	0	0	80	594	0	674	377,000	657	406,000	
本梅町	0	0	0	0	0	12	392	1	405	208,200	428	227,000	
畑野町	0	0	0	0	0	8	141	71	220	96,200	210	120,700	
宮前町	0	0	0	0	0	282	156	0	438	360,000	372	376,500	
東本梅町	0	0	0	0	0	0	183	0	183	91,500	184	92,000	
大井町	0	0	0	0	1	10	1,436	125	1,572	766,700	1,539	763,600	
千代川町	0	0	0	0	0	21	1,312	59	1,392	691,000	1,168	662,050	
馬路町	0	1	0	0	1	306	65	0	373	350,500	366	361,500	
旭町	0	0	0	0	0	45	163	0	208	126,500	219	133,000	
千歳町	0	0	0	0	0	228	97	0	325	276,500	339	279,500	
河原林町	0	0	0	0	0	38	201	0	239	138,500	240	148,000	
保津町	0	0	0	1	1	336	160	0	498	421,000	492	386,500	
篠町	0	0	1	0	1	132	1,684	262	2,080	1,038,550	2,784	1,000,450	
東つつじヶ丘	0	0	0	0	0	51	277	0	328	189,500	337	214,600	
西つつじヶ丘	0	0	0	0	0	66	508	0	574	320,000	543	348,000	
南つつじヶ丘	0	0	0	1	0	17	321	55	394	192,150	430	207,200	
小 計	0	1	1	2	5	1,818	12,608	625	15,060	8,304,510	15,504	8,400,650	
その他	2	26	54	48	69	41	39	1	280	914,000	285	1,001,000	
合 計	2	27	55	50	74	1,859	12,647	626	15,340	9,218,510	15,789	9,401,650	
施設会費										13	360,000	13	360,000
										15	192,000	15	192,000
合 計										28	552,000	28	552,000
会費合計										15,368	9,770,510	15,817	9,953,650

※ 施設会費には、京都府社会福祉協議会会費分 (368,000 円) を含む。

イ. 寄付者名簿（順不同、敬称略）

○一般寄付

（単位：円）

町名	寄付者名	金額	付記
下矢田町	ファイティングフィットネス京都 代表 山木 裕也	30,000	地域福祉事業
河原町	大槻 英逸	30,000	々
曾我部町	亀岡山野草を守る会	3,000	々
荒塚町	株式会社親愛 代表取締役 安達 卓志	50,000	々
西つつじヶ丘	(株)遊飛人	10,000	々
宮前町	人見 徳康	20,000	高齢者支援事業
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘青少年育成協議会	5,000	地域福祉事業
下矢田町	下矢田町北地区サマーフェスティバル 2017	6,490	々
菫田野町	亀岡青年会議所 にのうみ会	150,000	々
河原町	亀岡料飲連合会 会長 辻村 均	40,000	々
大井町	株式会社三煌産業 安全協力会	302,000	々
追分町	イマイグループ安全衛生協力会	50,000	々
大井町	大井町ゴルフ協会	50,000	々
余部町	亀岡地区更生保護女性会	20,000	々
南丹市八木町	株式会社親愛 代表取締役社長 安達 卓志	50,000	々
匿名 10件		124,716	地域福祉事業 子育て事業 高齢者支援事業
合計	25件	941,206	

○指定寄付

（単位：円）

寄付者名	金額	付記
亀岡 JC ジャがいもクラブ	50,000	青葉学園へ
合計	1件	50,000

寄 付 者 名	内 容	付 記
下矢田町「笑顔ふれあう豊かな心の集い」実行委員会	玉ねぎ 56 kg じゃがいも 11 kg	青葉学園へ
亀岡農家組合	米 30 kg×10 袋	々
匿名 2件	玄米 30 kg×10 袋 米 10 kg	々
合 計	4件	

○物品寄付

町 名	寄 付 者 氏 名	寄 付 物 品
篠町	NPO 法人 ナルク	プルタブ 38.9 kg ・ エコキャップ 54.8 kg
追分町	南桑土木建築株式会社	プルタブ 1.4 kg ・ エコキャップ 2.5 kg ・ 古切手
蕪田野町	青葉学園	エコキャップ 7.5 kg
曾我部町	竹井 寛	エコキャップ 18.7 kg
曾我部町	曾我部町自治会	プルタブ 12.6 kg ・ エコキャップ 12 kg
東つつじヶ丘	林 隆子	プルタブ 1 kg
大井町	俣野 良太	プルタブ 1 kg
畑野町	今西 多津子	エコキャップ 11 kg
曾我部町	亀岡市立中部保育所 保護者会	プルタブ 8 kg ・ エコキャップ 15.3 kg
余部町	川勝 丑三	プルタブ 2 kg ・ エコキャップ 2.5 kg
大井町	西村 誠	エコキャップ 3.5 kg
	国際ソロプチミスト亀岡	プルタブ 800g ・ エコキャップ 15.4 kg ・ 古切手
余部町	亀岡市立城西小学校ボランティア委員会	プルタブ 6.1 kg
北古世町	吉岡 健	プルタブ 2 kg ・ エコキャップ 600g
追分町	有限会社 ASC	使用済プリペイドカード 1490 枚以上
千歳町	森川 久男	プルタブ 10 kg
西つつじヶ丘	和久田 己善	エコキャップ 12.7 kg
吉川町	吉川町自治会	プルタブ 7.5 kg ・ エコキャップ 14.3 kg ・ 古切手
京丹波町	南丹ブロック委員会 (グラウンドゴルフ愛好者)	プルタブ 9.6 kg ・ エコキャップ 12.8 kg
荒塚町	明治安田生命 亀岡営業所	タオル 92 枚
河原町	森本 文雄	プルタブ 2.5 kg
曾我部町	石田 茂雄	プルタブ 1 kg ・ エコキャップ 2.4 kg
南丹市日吉町	牧野 正勝	エコキャップ 4 kg
東本梅町	井内 悦子	プルタブ 6.7 kg
南丹市園部町	第一生命園部営業オフィス 代表 鈴木 雄希丘	エコキャップ 9.5 kg
蕪田野町	一般社団法人 亀岡青年会議所	プルタブ 5.5 kg
河原町	濱本 修子	プルタブ 1.1 kg

町名	寄付者氏名	寄付物品
東つつじヶ丘	ほっこりサロンつつじヶ丘	プルタブ 0.9 kg ・ エコキャップ 1.2 kg
吉川町	吉川町「町民のつどい」	プルタブ 1.5 kg ・ エコキャップ 5 kg ・ 古切手
曾我部町	亀岡市立中部保育所 保護者会	プルタブ 7.7 kg ・ エコキャップ 33.2 kg
曾我部町	NPO 法人 青空ふれあい農園・ハーブ倶楽部	エコキャップ 9.5 kg
京都市	京都市アオの会	プルタブ 5.2 kg
曾我部町	法貴 茂博	プルタブ 1.2 kg ・ エコキャップ 4.2 kg
曾我部町	川上 クミ子	プルタブ 0.2 kg ・ エコキャップ 3.8 kg
千代川町	亀岡市立千代川小学校	エコキャップ 64.7 kg
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘自治会	プルタブ 2.1 kg
西町	藤本 新一	プルタブ 5 kg ・ エコキャップ 28.5 kg
曾我部町	京都亀岡ハーフマラソン大会 実行委員会ドリンク係	エコキャップ 1 kg
	郵便局長夫人会亀岡部会	雑巾 140 枚 ・ ウエス
上矢田町	村田 静江	プルタブ 400g ・ エコキャップ 600g
篠町	亀岡電子株式会社	プルタブ 0.2 kg ・ エコキャップ 42.7 kg
篠町	羽場 こうき	プルタブ 1.1 kg
下矢田町	浅田電機店、福井 敬子	プルタブ 0.1 kg ・ エコキャップ 3.2 kg
千歳町	野々村 絹子	プルタブ 800g
南つつじヶ丘	西尾 佳子 他	プルタブ 5.2 kg
篠町	洋裁サークル ピン・クッション	プルタブ 800g ・ エコキャップ 2.8 kg
篠町	亀岡市立詳徳小学校	プルタブ 43.6 kg
安町	亀岡市教育委員会 社会教育課 高齢者さわやか教室受講生	古切手 426g ・ プルタブ 12126g 使用済カード 481 枚
馬路町	中澤 賢一	プルタブ 1.6 kg ・ エコキャップ 0.5 kg
千代川町	俣野 義和	エコキャップ 6.1 kg ・ プルタブ 2.2 kg
南つつじヶ丘	亀岡市立南つつじヶ丘小学校	プルタブ 18.8 kg ・ エコキャップ 48.9 kg
南つつじヶ丘	六信 みどり その他	プルタブ 0.8 kg ・ エコキャップ 2.0 kg
畑野町	今西 多津子	エコキャップ 18.9 kg
葎田野町	亀岡市立葎田野小学校	プルタブ 7.4 kg ・ エコキャップ 60 kg
河原林町	亀岡市郵政退職者近畿共助会 京都北支部亀岡班	プルタブ 1 kg ・ 古切手
西つつじヶ丘	亀岡市立つつじヶ丘小学校	エコキャップ 90 kg
宮前町	(株)イーエル・オカモト	プルタブ 3.5 kg ・ エコキャップ 15.5 kg 使用済古切手
匿名 9件		プルタブ 86.3 kg ・ エコキャップ 8.6 kg ・ 古切手 未使用はがき ・ 食塩不使用ベビーうどん 10 袋
合 計		66件

- ・ 切手、プリペイドカードは、知的障がい者を支援するため取扱機関へ送付しました。
- ・ 空き缶のプルタブは、平成 29 年度に 367.7 キロ（800 キロで車椅子 1 台と交換）を収集、

エコキャップも開発途上国のポリオワクチン代(キャップ 800 個でワクチン 1 人分) として寄付するため 約 408,000 個収集し、それぞれ再資源化業者へ送付しました。

○『ふくかめ自動販売機』（寄付つき自動販売機）の設置推進事業

亀岡市の地域福祉を充実させるために、企業・自治会・地域の皆様が所有される建物や土地のスペースに自動販売機を設置させていただき、その収益の一部を地域福祉活動の財源として活用する仕組みです。

☆平成 29 年度 設置目標 3 台 ⇒ 4 台設置

【各自動販売機 寄付金実績】

(単位：円)

自動販売機設置場所 : 協力者	年間寄付金	備考 (設置期間)
吉川町公民館 (敷地内) : 吉川共栄報徳会	1, 7 7 3	H29 年 9 月 29 日設置 (6 ヶ月間)
馬路町生涯学習センター : 馬路町自治会	2, 5 3 0	H29 年 9 月 29 日設置 (6 ヶ月間)
ふれあいプラザ前 : 亀岡市社協	3 0, 7 9 6	H29 年 9 月 29 日設置 (6 ヶ月間)
東つつじヶ丘ふれあいセンター : 東つつじヶ丘自治会	3, 8 8 6	H29 年 12 月 12 日設置 (4 ヶ月間)
合 計	3 8, 9 8 5	

自動販売機設置協力事業所：(株)伊藤園

平成 29 年度に『ふくかめ自動販売機』を通した上記寄付金から、安心・安全のまちづくりの観点から地域の見守りの役割を担うことを目的に「ドライブレコーダー」を購入し、当協議会の公用車に設置いたしました。

(3) 広報活動

当協議会の事業や活動を市民に周知し、理解・協力を得るために広報活動を行いました。

ア. 広報紙「社協かめおか」の発行

発行部数 年 5 回 3 1, 6 0 0 部/1 回

配布方法 自治会を通じての全戸配布及び市内関係機関へ配布

イ. ホームページ

当協議会の活動を広く周知するための広報媒体としてホームページを開設し、活動内容や各種情報を掲載しました。

ホームページ・アドレス 亀岡市社会福祉協議会 <http://www.fukukame-net.or.jp/>

(4) 名義後援

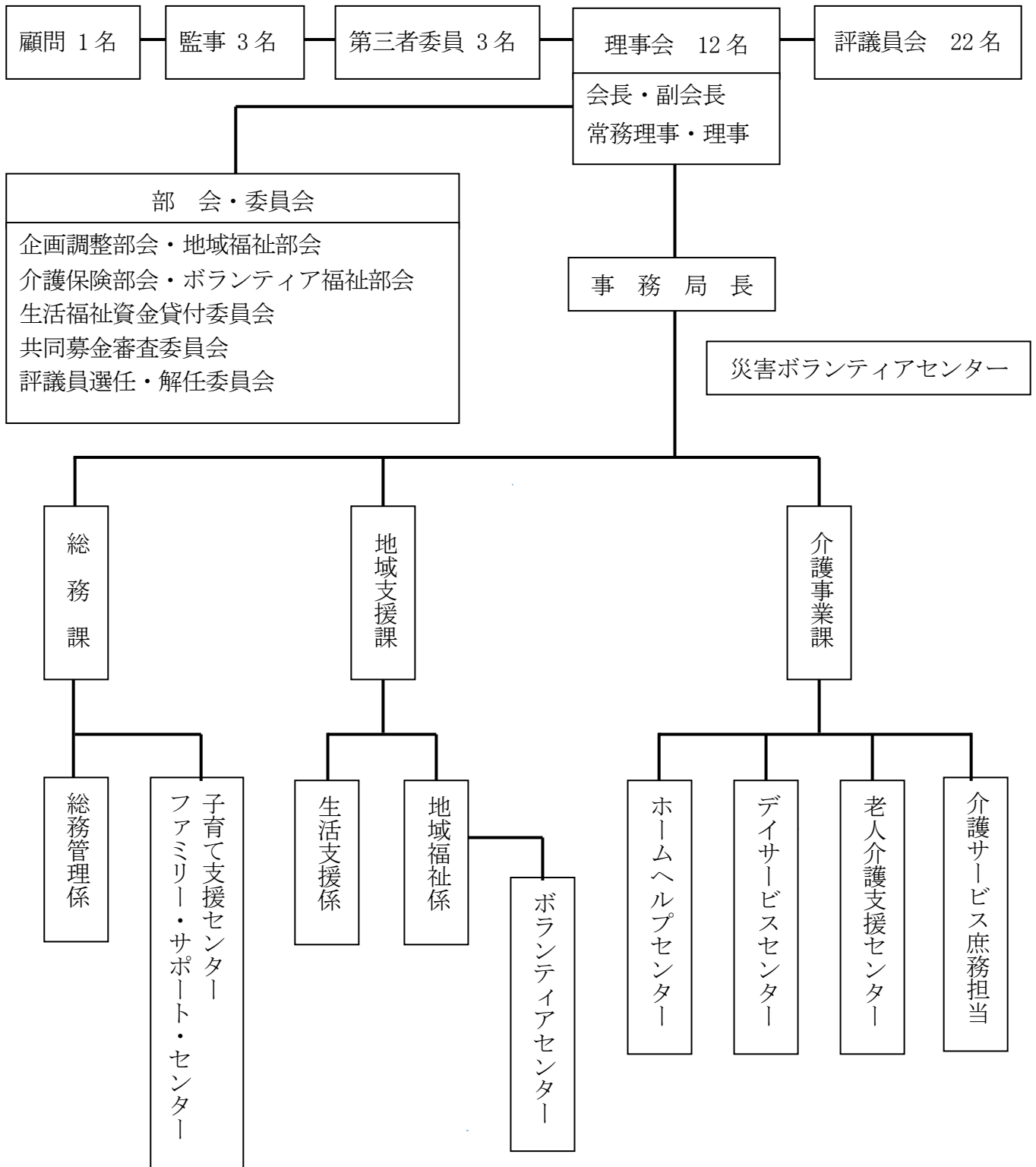
当協議会では、各種団体や福祉施設などが行う関連のある事業について、名義後援を行いました。

事業名	名義後援 件数
地域福祉事業	5 件
高齢者福祉事業	10 件
障害福祉事業	7 件
子育て支援事業	2 件
その他	0 件
合計	24 件

(5) 組織図 (平成30年度)

計 75 名 (正職員 21 名 嘱託職員 9 名 非常勤職員 3 名

登録ヘルパー15名 生活支援員 16名 臨時職員 11名)



(6) 事務局体制の強化と役職員の資質向上

年間を通して、職員対象の人権研修、コンプライアンス研修、衛生管理研修、また各係・センター毎ごとのスキルアップ研修等を積極的に実施いたしました。

外部研修においては、特に社会福祉法人の法改正、介護保険改正に伴う総合支援事業、職員の資質向上の研修に役職員対象へ参加を促しました。

2. 地域福祉推進事業

(1) ぐらしのサポートサービス事業

【事業趣旨】

ぐらしのサポートサービスは、日常生活を営むのに支障があり、何らかの理由で他の福祉サービスの利用等が困難な世帯に対し、市民の参加と協力により、非営利のボランティアな活動を基盤とした住民相互の助け合いによる福祉サービスを供給することにより、在宅福祉の充実と市民の福祉活動への積極的参加を促進することを目的とする事業です。

【支援内容】

○家事援助

- ・掃除
- ・洗濯買物
- ・調理
- ・浴室掃除
- ・書類整理
- ・窓ふき
- ・入院中の病院での洗濯や買物

○見守り

- ・お話し相手、一緒に留守番

○付き添い

- ・病院、役所、買物等のお出かけ時の付き添い

【活動実績】

○ 会員数

協力会員（実数）	28名（内、新規会員 3名）	…	月平均活動者数	17名
利用会員（実数）	65名（ 〃 13名）	…	月平均利用者数	28名

○利用状況実数

- ・外出同行：受診の同行5件 買い物の同行2件
- ・家事援助：掃除51件 洗濯8件 買い物17件 調理10件 その他17件
- ※ 「掃除と買い物」の様に組み合わせての利用を含む。
- ※ その他…話し相手、入浴見守り、草刈り等の軽作業。

○年度別活動実績

年 度	利用者数 (延人数)	協力者数 (延人数)	活動回数
平成27年度	468人	325人	1,929回
平成28年度	398人	263人	1,727回
平成29年度	341人	203人	1,280回

○協力会員研修・交流会

・実 施 日 :平成30年3月8日 (木)

・内 容 :

①研修 「くらしのサポートサービスの活動状況と活動する際の留意点」

* 協力会員は単独での活動が多いため、他の協力会員がどのように活動し、申込みにはどのような依頼が多いのかなど、全体が見えないまま活動されている現状を受け、研修では全体の活動件数や活動内容、くらしのサポートを通して見える地域のニーズについて報告を行いました。また、活動する際の留意点についても改めて説明し共通理解をはかりました。

②交流会 「協力会員交流会」

* テーマをもとに参加者同士で感じていることを共有し、情報交換する場としました。

・会 場 :ふれあいプラザ 世代間交流室

・受 講 者 :6名

(2) 生きがい活動支援通所事業 (高齢者介護予防拠点活動支援事業)

平成29年度より高齢者介護予防拠点事業と名称が変更となり、毎回、体操を取り入れるなど従来よりも運動や脳トレ、栄養及び口腔などに係る介護予防に重点を置いた取り組みを行いながら、高齢者の生きがいや健康づくりの一環として、日常動作訓練や趣味、レクリエーションなどの機会を提供しています。

【実施場所】

○曾我部いこいの家

毎週水曜日 (年末年始・祝日を除く)

午前10時から午後3時まで

【実施内容】

健康チェック、体操、脳トレ、日常動作訓練、教養講座、手芸、趣味活動

○活動状況

	曾我部いこいの家		
	協力会員 (人)	活動回数 (回)	延利用 人数(人)
平成27年度	3	45	385
平成28年度	3	48	454
平成29年度	3	47	417

【事業成果】

平成13年度のスタートから継続して参加されている利用者も多く、毎週参加を楽しみにしていただいています。介護予防を目的としているこの事業の成果が表れています。

(3) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

【事業趣旨】

福祉サービスは、自らの意思と責任で、必要なサービスを選び、サービス事業者と対等な関係で契約を結ぶことが基本です。しかし、自分の判断能力に不安がある方は、例えばどんな福祉サービスがあるのか、どうすれば福祉サービスを利用できるのか、さまざまな場面で判断に迷い、適切なサービスを利用できない場合があります。また、毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに困ったり、訪問販売による過剰な物品の購入などのトラブルに巻き込まれる場合も想定されます。

福祉サービス利用援助事業は、そうした方々の個人の尊厳と利用者自身の意思決定を保持し、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理を社会福祉協議会が支援することで、誰もが地域で、“いきいき”と“安心して”暮らせるようにお手伝いする事業です。

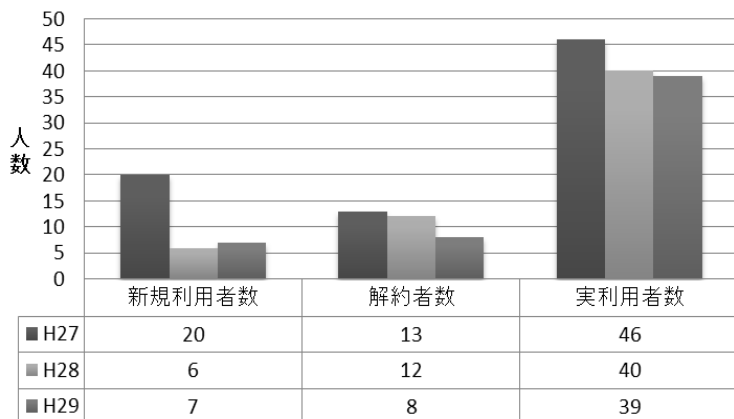
【支援の内容】

- 福祉サービス利用の支援
 - ・福祉サービスについての情報提供
 - ・福祉サービスの利用手続き援助（申込手続きの同行、代行）
 - ・福祉サービス利用料の支払い等
- 日常的な金銭管理の支援
 - ・年金や福祉手当などの受領手続き
 - ・税金・公共料金・医療費・光熱費・家賃などの支払い
 - ・日常生活に必要な預貯金の払い戻し、預け入れ、解約の手続き
 - ・日常生活支援に必要な通帳・印鑑の預かり
 - ・その他、書類等の預かり

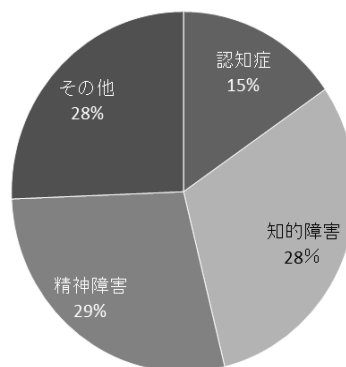
【活動実績】

年 度	活 動 実 績				相談状況 (件)
	生活支援員 (人)	専門員 (人)	利用者数 (人)	活動回数 (回)	
平成27年度	21	2	46	1, 223	31
平成28年度	18	3	40	1, 147	23
平成29年度	17	2	39	1, 111	32

新規・解約・実利用者数推移



実利用者障がい別内訳



【事業成果】

平成29年度は、本事業の次年度以降の国の方針が不透明であり、国や府の動向をみながら慎重に新規利用者との契約を進めました。それにより新規契約数や活動回数は前年度より減少しましたが、支援全体では課題を重層的に抱える方（世帯）への支援に幅広く対応することができました。例えば、子どもを育てるある利用者の支援では、利用者は、子どもの進学希望を叶えたいとの思いと入学金の準備が困難な家計状況との間で葛藤を抱えておられましたが、利用者の思いに添える方法を検討し、当社協生活福祉資金貸付事業担当者と連携しながら教育支援資金を利用することで子どもの進学を実現することができました。また、利用者が地域との繋がりを再構築できるよう、必要時に担当の民生委員や自治会と連携を図り、利用者が地域で安心して生活できるよう支援を行いました。

(4) 生活福祉資金貸付事業

【事業趣旨】

所得が少ない世帯、障害者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにすることを目的とし実施しました。

【資金種類別内容及び実績】

① 総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えておられる方に、経済的自立を支援することを目的として、生活の立て直しのための継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金の貸付を行いました。

資金内種別	件数(件)	金額(円)
生活支援費	2	317,000
住宅入居費	0	0
一時生活再建費	0	0
合計	2	317,000

② 福祉資金

低所得者や障がい者・高齢者世帯を対象に、生活の安定を目指すことを目的として、必要な資金の貸付と担当職員による相談支援を行いました。

資金内種別	件数(件)	金 額 (円)
福祉費	4	2, 5 6 9, 0 0 0
緊急小口資金	2	2 0 0, 0 0 0
合 計	6	2, 7 6 9, 0 0 0

③ 教育支援資金

低所得世帯に属する方が学校教育法に規定する高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校に就学するのに必要な経費の貸付と担当職員による相談支援を行いました。

資金内種別	件数(件)	金 額 (円)
教育支援費	2 0	6, 4 2 9, 0 0 0
就学支度費	2 2	9, 1 0 4, 0 0 0
合 計	4 2	1 5, 5 3 3, 0 0 0

【事業成果】

貸付希望者から相談があった際、地区担当の民生委員と連携をとり、困窮世帯が継続して住み慣れた地域で生活できるよう貸付希望者了承のもと情報共有を行いました。

また、地域福祉権利擁護事業契約世帯で軽度発達障害のある子どもの進学に際し、本資金貸付にて対応。地域福祉権利擁護事業担当者・行政担当部署・高校進路担当教諭と連携のうえ、貸付だけで終わらず進路相談も行うなど、スムーズに進学できるよう支援を行いました。

(5) 福祉金庫資金貸付事業

【事業趣旨】

亀岡市民であって、自立更生の意欲のある世帯及び、特に必要と認める要援護世帯などに資金を貸付け、その生活の安定と自立更生に役立たせ、社会福祉の増進を図ることを目的とし、不時の出費などによって、最低生活を脅かされる恐れのある世帯、要援護世帯など、他からその必要な資金を得ることが困難な方に対して貸付を実施しました。

【貸付および償還実績】

平成29年度 貸付分		平成29年度 償還分	
貸付件数	13件	償還金額	106,000円
貸付金額	260,000円		

※ 貸付額： 1件2万円以内

※ 償還期日： 1年以内

※ 利 息： 無利子

【事業成果】

上記、生活福祉資金の貸付ができない世帯についても、状況をしっかりと聞き取ったうえで本資金貸付が必要と判断した世帯については、柔軟・迅速に貸付対応をしました。

また、滞納者に対し訪問や電話・郵送等にて償還を促すとともに、滞納世帯の現状に応じた償還方法の変更の提案等を実施し、償還に繋げる努力をしました。

(6) 地域支えあい事業（生活支援体制整備事業）

平成29年度亀岡市生活支援体制整備事業を受託する中で、これまで市行政と連携をとりながら、『地域資源・ニーズの把握』『地域資源の開発』『ネットワークの構築』『ニーズと取り組みのマッチング』等に取り組みを進め、2025年迄の亀岡市における地域包括システムの構築を目指しています。

本年度は、事業の更なる展開を進める中で課題であった

- ① 生活支援コーディネーターの選出・配置及び活動
- ② 第1層協議体設置に向けての活動
- ③ 亀岡市他関係機関との連携・協議

に努めました。

とりわけ、協議体の在り方を考える学習会においては、今後の亀岡市における市民主体によるまちづくりを進める核として亀岡市が設置する「協議体」のあり方を考える場として、平成28年6月19日に開催した「支え合い 助けあう 共生のまちづくりフォーラム in 亀岡」に集まっていたいただいた総勢400人に及ぶまちづくりに関心のある方々に声をかけさせていただき、本年度以降も20名の市民主体となる自主的な学習会を社会福祉協議会としても事務局サイドから支援してきました。

また、地域資源・ニーズを把握、開発し、ネットワークでつなぎ、取り組みをマッチングしていく生活支援コーディネーターの役割については、平成28年度に京都社会福祉士会から3名の選出をいただいたところでしたが、社会福祉士会の事情もあり本年度においては、社会福祉協議会の職員において業務に取り組む中、本来望ましいコーディネーターの選出について検討を重ねました。

① 生活支援コーディネーターの選出・配置及び活動

社会福祉協議会職員がコーディネーターとして、本年度においては、地域支援課長および地域福祉係長、総括主幹の3名体制の配置を確保しつつ、亀岡市と連携しながらモデル地域への取り組みを進めてきました。

地域への事業推進に当たっての取り組みとして自治会役員等への事業説明に思いのほか時間を費やすところとなり、町住民側のニーズを把握し、これに対する支援を提供したいと考える側とのマッチング、ネットワーク構築までにさらに相当な時間を費やす必要を確認しているところです。

コーディネーター業務としてのモデル地区以外の地域への関わりについては、可能な限り各町の資源状況、本事業への自治会役員さんの現在の思い等を把握することと合わせて、今後の事業推進に当たっての顔つなぎをするべく、各町に本事業の取り組みについて懇談を実施しました。

◎平成29年度の主な取り組み状況

日時	場所	主な学習内容	参加者	事務局
平成29年 4月25日(火) 9:30~10:20	宮前町自治会	自治会との地域勉強会協議	1名	2名
4月25日(火) 11:00~12:15	南つつじヶ丘自治会	自治会との地域勉強会協議	1名	2名
4月26日(水) 11:15~12:00	千歳町自治会	自治会長との事業事前協議	1名	2名
4月26日(水) 13:30~15:00	旭町自治会	自治会長との事業協議	2名	2名
5月10日(水) 10:00~11:00	旭町農事組合法人	事業推進に当たっての協力 依頼	2名	2名
5月19日(金) 19:30~20:30	宮前町自治会	自治会役員への事業協力依 頼	14名	4名
5月20日(土) 20:00~21:00	旭町自治会	ふるさと街づくり連絡協議 会委員会への事業協力依頼	31名	4名
5月20日(土) 13:30~14:30	社会福祉法人 松花苑	施設協議会への協力依頼	1名	2名
6月2日(金) 10:00~11:30	旭町自治会	自治会役員さんと居場所づ くりに向けた協議	2名	3名
6月8日(木) 10:00~11:30	宮前町自治会	自治会役員さんとの事業打 ち合わせ	10名	4名
6月9日(金) 21:00~22:00	旭町自治会	区長役員さんへの協力依頼	28名	4名
6月12日(月) 13:30~14:30	旭町印地区	元気村印地への取材	7名	4名
6月14日(水) 10:30~12:00	社協相談室	施設協議会役員会への事業 説明	3名	3名
6月15日(木) 10:00~11:00	蕨田野町自治会	役員さんへの事業説明	5名	2名
6月26日(月) 13:30~15:30	社協世代間交流室	まちづくり研究会学習会	18名	5名
7月10日(月) 20:00~21:00	旭町自治会	自治会役員への事業協力依 頼	8名	4名
7月18日(火) 13:30~14:30	保津町自治会	地区社協取り組み説明会	8名	4名
7月19日(水) 13:30~15:00	旭町山階区公民館	予防教室での集まりの場資 源調査	12名	4名

日時	場所	主な学習内容	参加者	事務局
7月21日(金) 9:30~11:00	宮前町自治会	自治会役員さんとの事業打ち合わせ	3名	4名
7月26日(水) 9:30~12:00	千歳町自治会	民生委員さんへの事業説明、資源聞き取り調査	4名	4名
7月28日(金) 10:00~11:00	社協相談室	京都生協からの情報収集	2名	2名
8月5日(土) 19:30~22:00	畑野町町おこし広場	まちおこし交流事業に参加	住民多数	1名
8月10日(木) 10:00~11:30	宮前町自治会	自治会役員さんとの事業協議	2名	4名
8月20日(日) 19:30~20:00	旭町山階区交流広場	山階区盆踊り大会参加	住民多数	1名
8月22日(火) 10:00~11:30	本梅町自治会	自治会長さんと懇談	1名	1名
8月22日(火) 14:30~16:30	南丹保健所会議室	南丹圏域生活支援コーディネーター交流会	6名	2名
8月28日(月) 13:00~15:30	精華町NPO事業所	まちづくり研究会学習会(精華町元気村視察)	19名	5名
9月8日(金) 13:30~14:30	亀岡東部地区自治会	自治会長さんと懇談	1名	3名
9月10日(日) 10:00~11:30	宮前町神前区	神前ふれあい朝市訪問	5名	5名
9月10日(日) 11:30~12:00	宮前町国際交流会館	NPO チョロギ村訪問	9名	5名
9月14日(木) 14:00~15:30	ギャラリーかめおか3F	市民活動協働センター訪問	2名	3名
9月19日(火) 16:00~17:00	市役所高齢福祉課	まちづくり研究会メンバーとの懇談	12名	3名
9月22日(金) 10:00~11:00	亀岡中部地区自治会	自治会長さんと懇談	1名	3名
9月25日(月) 18:00~20:00	社協世代間交流室	まちづくり研究会メンバーとの意見交換	4名	5名
9月26日(火) 10:00~11:00	篠町自治会	自治会長さんとの懇談	1名	3名
9月26日(火) 13:00~15:00	宮前町神前公民館	神前ふれあいサロン訪問	22名	4名
9月28日(木) 10:00~11:00	西つつじヶ丘自治会	自治会長さん、地域ふれあいネット担当者と懇談	2名	3名

日時	場所	主な学習内容	参加者	事務局
9月28日(木) 13:30~15:30	旭町印地区ゲストハウス 藤原亭	市民活動交流センター活動者 交流会に参加	18名	5名
9月29日(金) 10:00~11:30	東本梅町自治会	自治会長さん、民生員さんと 懇談	3名	3名
10月7日(土) 20:50~21:30	旭町山階区公民館	組長さんとのまちづくり勉強 会	10名	5名
10月21日(土) 10:00~11:30	旭町山階区	秋祭り参加	住民多数	1名
10月24日(火) 13:30~14:30	宮前町宮川区公民館	宮川区老人クラブとの勉強会	12名	5名
11月5日(日) 9:30~10:30	宮前町神前ふれあいセン ター	神前ふれあいセンター祭りに 参加	住民多数	4名
11月5日(日) 11:00~12:00	亀岡東部自治会	東部フェスタに参加	住民多数	3名
11月7日 14:00~16:00	旭町山階区公民館	第1回住民茶話会	9名	8名
11月16日(木) 13:30~14:30	宮前町宮川区	はりきり工房桑山邸訪問	12名	2名
11月17日(金) 19:30~21:00	畑野町公民館	自治会みまもり勉強会	13名	8名
11月24日(金) 14:00~15:00	旭町山階区	茶話会ポスティング	—	2名
12月14日(木) 13:30~16:00	ギャラリーかめおか研修室	生活支援コーディネーター連 絡協議会(府社協主催)出席	9名	2名
12月16日(土) 14:00~16:00	旭町山階区公民館	第2回茶話会	6名	8名
12月17日(日) 13:00~14:00	本梅町自治会	住民アンケート調査	30名	4名
12月20日(水) 15:00~16:30	市302会議室	市地域ケア個別会議出席	21名	1名
12月21日(水) 13:30~16:00	綾部市	市民フォーラム研修参加	—	2名
12月27日(水) 14:00~15:00	かめおか市民活動推進セ ンター	生活支援コーディネーター選 出について意見交換	2名	5名
平成30年 1月19日(金) 14:00~15:30	かめおか市民活動推進セ ンター	生活支援コーディネーター選 出について意見交換	1名	5名
1月20日(土) 14:00~16:00	旭町山階区公民館	第3回茶話会	9名	9名

日時	場所	主な学習内容	参加者	事務局
1月30日(火) 14:30~16:45	市民活動推進センター	生活支援コーディネーター候補との打ち合わせ	3名	4名
2月3日(土) 13:30~16:00	宮前町神前区ふれあいセンター	ふれあいサロン担当者交流会に参加	35名	3名
2月21日(水) 15:00~16:30	市302会議室	市地域ケア個別会議出席	22名	1名
2月24日(土) 13:30~16:00	ギャラリーかめおか大広間	共生のまちづくりフォーラム	170名	9名
3月1日(木) 14:00~16:00	宮前町宮川区公民館	宮川区第1回茶話会	8名	7名
3月3日(土) 14:00~16:00	旭町山階区公民館	第4回茶話会	約20名	3名
3月9日(金) 19:30~20:00	本梅町自治会	区長会勉強会	7名	10名
3月12日(月) 13:30~15:00	ギャラリー2F大広間	サロン交流会	30団体 55名	6名
3月13日(火) 13:30~15:45	世代間交流室	生活支援コーディネーター候補者勉強会	3名	4名
3月29日(木) 10:00~12:00	市302会議室	いきいきプラン推進協議会研究会議	13名	6名

本年度、社会福祉協議会で担っている生活支援コーディネーターの今後の本格配置については、地域のまちづくり資源を探す機会の中で、亀岡市において「まちづくり」に取り組みを進めている他の機関との情報共有し、連携することができました。まちづくり活動をする中間NPOとして市とも連携して活動している「かめおか市民活動推進センター」との連携がつながる中で、今後の生活支援コーディネーターの配置についても意見交換、勉強会を行い、連携を深めてきた結果として3月29日の市協議体研究会に3名の候補者を報告できたところです。

② 第1層協議体設置に向けての活動

まちづくりに関心のある方々の参画は、思いのほか熱い思いをお持ちの方が多く、20名の他にも今後の地域でのまちづくりに協力したいとの思いの60名も待機いただく中で、協議体の在り方を考える学習会を月1回のペースで開催してきました。

これらの方々は、自主的に参加をいただいた方々ではありますが、自治会役員や民生委員さんとして活動されている方、NPO等で支援活動をされている方、老人クラブやボランティア団体として、あるいは事業者、一市民の活動等、様々な立ち位置の方々が集まっていたり、この広範囲の立ち位置の方々の集まりは、これからのまちづくりを考える上でも、これまでのまちづくりにない大きなネットワーク力を期待できるものと思います。

また、学習会を重ねる中、全国の事例には、第1層協議体を早々に立ち上げたものの、すでに機能しなくなっている協議体の事例も聞かれることとなり、「亀岡流」の協議体への模索を続ける中、住民主体の「やらされ感のないまちづくり」を考えるための協議体として、市が設置を目指す協議体委員に対して勉強会メンバーから5名を推薦していきたいとの確認ができ、3月29日の市協議体研究会に候補者5名を推薦できました。

◎平成29年度の取り組み

日時	場所	主な学習内容	参加者	事務局
平成29年 5月25日(土) 13:30~16:00	社協世代間交流室	まちづくり研究会学習会	20名	5名
6月26日(月) 13:30~15:30	社協世代間交流室	まちづくり研究会学習会	18名	5名
8月28日(月) 13:00~15:30	精華町NPO事業所	まちづくり研究会学習会(精華町元気村視察)	19名	5名
9月25日(月) 18:00~20:00	社協世代間交流室	まちづくり研究会メンバーとの意見交換	9名	5名
10月26日(木) 10:00~12:20	世代間交流室	まちづくり勉強会	9名	6名
10月30日(月) 14:00~16:00	市役所201会議室	いきいきプラン推進協議会研究会議	8名	5名
12月25日(月) 10:00~12:00	世代間交流室	まちづくり勉強会	12名	5名
平成30年 2月24日(土) 13:30~16:00	ガレリアかめおか大広間	共生のまちづくりフォーラム	170名	9名
3月2日(金) 13:30~16:30	候補者宅他	協議体推薦候補者訪問	—	5名
3月6日(火) 10:00~11:30	社協相談室	協議体推薦候補者との打ち合わせ	5名	5名
3月20日(火) 15:30~17:30	世代間交流室	まちづくり勉強会	17名	5名
3月29日(木) 10:00~12:00	市302会議室	いきいきプラン推進協議会研究会議	13名	6名

本年度の勉強会については、協議体を考える全体勉強会が中心となったため、地域での取り組みに協力いただけるメンバーの約60名が待機をいただいているところであり、今後の活動への課題となっています。

③ 亀岡市他関係機関との連携・協議

事業の推進にあたっては、本年度も市高齢福祉課他関係機関との連携し協議を重ねながら事業に当たってきました。

◎平成29年度の主な事務協議

日時	場所	主な学習内容	事務局
平成29年 4月3日(月) 13:00~14:00	市高齢福祉課	新年度事業打ち合わせ	3名
4月21日(金) 9:30~11:00	社協相談室	高齢福祉課との事務協議	4名

日時	場所	主な学習内容	事務局
5月2日(火) 9:30~11:00	社協相談室	高齢福祉課との事業協議	4名
5月12日(金) 13:30~15:00	社協相談室	高齢福祉課と事務協議	4名
6月5日(月) 11:00~12:00	市高齢福祉課	高齢福祉課との事務協議	4名
6月23日(金) 9:30~11:30	社協相談室	市高齢福祉課事業打ち合わせ	4名
7月14日(金) 13:30~16:00	社協相談室	市高齢福祉課事業打ち合わせ	4名
7月27日(木) 15:00~17:00	社協相談室	市高齢福祉課事業打ち合わせ	4名
8月2日(水) 13:30~16:00	市役所会議室	後期事業についての高齢福祉課との協議	7名
8月21日(月) 13:30~15:30	社協相談室	市高齢福祉課事業打ち合わせ	4名
9月25日(月) 13:30~15:30	市役所高齢福祉課	業務打ち合わせ	3名
10月6日(金) 9:45~10:45	市役所高齢福祉課	今後の進め方について	5名
11月30日(木) 16:40~17:30	社協相談室	今後の進め方について	7名
12月15日(金) 10:00~11:30	社協相談室	事業の進め方について	4名
12月21日(木) 18:00~18:45	社協相談室	事業の進め方について	5名
平成30年 1月5日(金) 9:30~11:00	社協相談室	今後の進め方について	5名
1月15日(月) 15:00~17:15	社協相談室	今後の進め方について	5名
2月9日(金) 9:30~11:30	社協相談室	今後の進め方について	5名
2月16日(金) 12:00~14:00	京都市内	フォーラム打ち合わせ	6名
2月19日(月) 14:00~15:30	市民活動推進センター	フォーラム打ち合わせ	7名

後期の活動状況については、市との連携に加え、市民活動推進センター等との連携を深めることができたところであり、とりわけ生活支援コーディネーター候補の選出が出来たとこ

ろです。

(7) 福祉生活課題解消支援事業

地域における深刻な生活課題に向けた取り組みとして、既存の福祉サービスでは対応困難な事案の解決に向け、行政をはじめ関係機関とのネットワークにより、取り組む体制を構築する事ができました。

(8) 社会的孤立防止対策見守り活動事業

◎ 地域から孤立していると思われる人の発見、相談支援、見守り等を中心とした個別支援
→『個別に関わること』

◎ 社会的孤立防止対策としての地域の理解促進→『地域に関わること』

上記の2本柱で平成26年度から事業を展開しています。

① 社会的孤立防止対策のための相談支援体制の確立

相談件数 36件 対応回数107件

相談内容は、下記の通り多岐にわたり、相談者の年齢層も若者から高齢者まで幅広く、男女の比は、ほぼ同じであった。相談者の孤独感を解消することに重点をおき、ゴミ屋敷など解決が困難な案件については、関係機関と連携しながら解決に向け取り組んだ。

その他、電話による状況確認、訪問など継続的でさりげない見守り等も行った。

○相談件数

内 容	件 数 (件)
家族のこと	14
経済的なこと	0
健康面のこと	9
近隣住民のこと	4
その他	9
合 計	36

② 社会的孤立防止対策の理解と促進

各地域の住民向け、サロン参加者向けに、孤立しがちな高齢者や、災害時の要配慮者への理解を求める講座や、市内活動者を対象とした交流、研修会を行いました。

また、福祉の出前講座として、商店街やライフライン事業者である保険会社や郵便局職員向けに講座を行い、見守り通報活動等への協力を求めました。

(講座回数8回 参加人数227人)

③ モデル地域における見守り体制づくり

民生委員児童委員の研修会にて、本事業の説明を行った他、障害者理解、要支援者の災害訓練など、各支部との連携を図った。また、地域の見守り体制について、各自治会への聞き取り調査を行いました。

④ 見守りサポーターの養成

見守り、相談支援の必要な人に対して住民による寄り添い支援を行う“社協寄り添いサポーター”の養成と活動充実を図ると共に、定例会の開催と研修会において、活動についての話し合いや技術の向上を図りました。

研修を受けたサポーターが、対象者宅を訪問し、傾聴、情報提供活動を行いました。

⑤ ひきこもり支援

見守りの対象となりがたい年代への支援として、ひきこもりに悩むご家族の方を対象とした家族教室を昨年度にひきつづき開催（年5回実施、参加人数延べ47名）すると同時に個別相談にも応じる体制を整えました。ひきこもり当事者がボランティア活動と繋がることを目的に、月1回のボランティアデーに合わせ、パソコン講座を開催し、広報等で広く案内をしました。

また、福祉関係、教育関係など、支援機関同士のつながりを目的とした「なんたん子ども若者ネットワーク会議」、連携強化のための「なんたんユースHUB会議」の開催など、関係機関との連携の為に体制ができました。

⑥ 総合相談の周知

相談専用電話による受け付け体制を整えると共に、亀岡駅前の出張相談窓口を開設し、全戸配布の広報誌にて案内を行いました。

⑦ ケース検討会議の実施

市委託事業としての社協の取組みと市地域福祉課としての事業の取組み（特に相談業務）を常に協力体制と連携のもと実施するため、検討会議を月に1回行いました。会議を定期的に行うことで、市と連携を取り、事業を進めることができました。

⑧ 地域福祉支援員と連携した見守り活動

市、市社協に各々にきた相談に対して、共に相談支援を行ったほうが有効なケースは一緒に支援に入りました。

【事業成果】

相談員や寄り添いサポーターの訪問活動、地域の民間事業所への協力の要請等により、地域で孤立状態になることを防ぐための見守り体制づくりを進めると同時に、関係機関、行政と連携しながら支援を行う体制の構築ができました。

ひきこもりやごみ屋敷等、制度の狭間で公的支援が受けにくい人への支援を、構築したネットワークを利用しながら進められたことは、大きな成果となっています。

(9) 福祉用品貸出事業

① 介護用品等貸出事業

- ・ベッド貸出 35件（平成28年度 22件）
- ・車イス貸出 132件（平成28年度 111件）

② レクリエーショングッズ等貸出事業

○貸出実績

(単位：回)

用 品	サロン	子ども会	地区社協	福祉施設	福祉協力校	自治会	その他	合 計
安全ボーリングセット	4	3	1				2	10
ジャンボサイコロ	1	1					1	3
ドレミパイプセット		1						1
輪投げセット	6	5	1	2		1	3	18
ストライククッションボード	2	2		1			1	6
マグダーツ	1						1	2
お手玉ボード	4	4		1		1	2	12
ジャンボトランプ								0
バスケットビンゴ	3			1		1	2	7
ターゲットゲーム	2			1			2	5
デジタルビンゴ						2		2
ビンゴ	2			1			1	4
オセロ								0
古里かるた								0
クリスマスツリー						1		1
サンタ衣装	1					1		2
太鼓相撲	2	3						5
プロジェクター	1			1			6	8
ケーブル							2	2
スクリーン				1			6	7
DVDプレーヤー								0
マイクスタンド							1	1
マイクアンプ (スピーカー)							1	1
マイク							2	2
募金箱置型							1	1
募金箱手持型							1	1
展示パネル						1		1
ポップコーン機								0
綿菓子器				1		6	2	9
織機部品								0
椅子				1				1

用 品	サロン	子ども会	地区社協	福祉施設	福祉協力校	自治会	その他	合 計
机				1				1
テント							2	2
缶バッチ作成機								0
着ぐるみ								0
台車								0
きね							1	1
うす							1	1
もち切り器							2	2
蒸し器・蒸し布							1	1
ざる							1	1
高齢者体験グッズ	1							1
車椅子(体験学習用)			1					1
車椅子用スロープ				1			1	2
アイマスク			1					1
DVD (なんたん元気づくり体操・高齢者期は食べ盛り)								0
その他								0
合 計	30	19	4	13	0	14	46	126

3. 福祉コミュニティ推進事業

(1) 地区社会福祉協議会の推進及び支援

亀岡市が策定の地域福祉計画に基づき、地域住民が主体となって福祉コミュニティを推進する組織として、地区社会福祉協議会が下記のとおり市内12地区で設立されています。

会議の出席・研修会参加の促進・助成金支援等、各地区の活動への支援を積極的に行っていきました。

【設立されている地区社協】

- ・保津町社会福祉協議会 (昭和39年4月設立)
- ・亀岡地区社会福祉協議会 (昭和51年5月設立)
- ・曾我部町地区社会福祉協議会 (平成5年4月設立)
- ・吉川町地区社会福祉協議会 (平成18年3月設立)
- ・本梅町地区社会福祉協議会 (平成18年11月設立)
- ・蒔田野町地区社会福祉協議会 (平成20年2月設立)
- ・篠町地区社会福祉協議会 (平成21年3月設立)
- ・宮前町地区社会福祉協議会 (平成22年11月設立)
- ・亀岡地区東部社会福祉協議会 (平成22年12月設立)
- ・東つつじヶ丘地区福祉協議会 (平成23年3月設立)

- ・南つつじヶ丘地区社会福祉協議会（平成 23 年 10 月設立）
- ・亀岡地区中部社会福祉協議会（平成 24 年 2 月設立）

実施日	地区(対象)	内 容
平成 29 年 5 月 21 日(土)	曾我部町	【平成 29 年度 総会開催】 市社協出席
6 月 29 日(月)	本梅町	【平成 29 年度 総会開催】 市社協出席
8 月 5 日(土)	亀岡地区東部	【亀岡地区東部社会福祉協議会主催 ボランティア養成講座】 「魅力あるボランティア活動」市社協：講師
平成 30 年 2 月 17 日(土)	12 地区社協対象	【第 6 回きょうと地域福祉活動実践交流会】 主催：きょうと地域福祉活動実践交流会実行委員会 講演「現代の貧困に挑む！これからの地域づくり ～ひとりぼっちをつくらない～」 実践発表から地域活動のヒントを得ていただくことを 目的に参加 地区社協等より 19 名の参加 市社協：調整、同行
2 月 3 日(土)	宮前町	【サロン研修・交流会】 「まちづくりの今までの動き」 市社協：講師

【事業成果】

地域を廻り聞き取りを行う中で顔のみえる関係を築き、それぞれの地域の特色や資源について共有することができました。また、地域福祉活動の推進や課題についても地域住民の方々と話し合い、共に考える場を持つなど関係機関や行政との協働による事業の展開も活発に行うことができました。

(2) 地域サロン活動の推進

サロン活動とは、生きがい活動と元気に暮らすきっかけをつくり、地域の見守り活動も兼ね、地域の人同志のつながりを深める活動です。

亀岡市内において、各地域でサロン活動が活発に行われ広がりをみせており、訪問や研修会を実施し支援を行いました。

実施日	活動内容
年間を通して 随時訪問	【各地域のサロン活動訪問】 ※訪問することで活動内容の把握、活動者や利用者の声を聴き、活動推進の参考としている。 亀岡市内の各サロン 34 ヶ所を訪問する事ができた。
平成 30 年 3 月 12 日(月)	【サロン活動者研修・交流会】 主催：市社協 参加者：30 団体 55 名 ボランティア 4 団体 13 名

	<p>内容：第1部 ふくかめサロン 「サロンにきていただけるボランティア団体の紹介」</p> <p>第2部 テーマ別意見交換 「うちのサロン自慢」 「うちのサロンの困り事」 「よそのサロンにこんな事聞きたい」</p>
--	--

【事業成果】

毎年開催しているサロン活動者対象の研修・交流会は多くの活動者の皆様に参加いただき、活動への意欲と意識の高さを感じています。サロンを楽しく魅力あるものにするために協力していただけるボランティア団体の紹介も行い、サロン活動者同士が交流し、ヒントを得て新たな活動のきっかけ作りの機会となりました。

(3) 小地域福祉活動の推進

◇地域ひとつなぎ事業

一人暮らし高齢者世帯等を戸別、サロンにより見守ることによって高齢者の孤立・孤独を防ぎ、安全・安心な地域づくりを目指す活動の強化（拡充）を図るため申請先に支援を行いました。

団体先	申請数
自治会	6 地区
地区社協	4 地区
その他の団体	4 団体

【事業成果】

見守り強化を呼びかけることにより、地域力の強化に繋がっています。

4. ボランティア活動支援事業

(1) ボランティアセンター運営事業

亀岡市ボランティアセンターには、福祉に関わりの深いボランティアグループと個人ボランティアが登録され、亀岡市の地域福祉や福祉教育の推進のため活動をしています。

<ボランティアセンター登録数>

- ・個人ボランティア 19名（平成29年度登録数）
- ・ボランティアグループ 26グループ

① ボランティアグループや個人ボランティアへの活動支援

・ボランティア7の日

平成29年度はボランティアグループ、個人ボランティアの方々を対象とし「ボランティア7の日」事業を開催しました。6月に亀岡市内に全戸回覧をおこない、ボランティアセンターの紹介とともに、毎月7日のパソコン連続講座の開催を広報し参加者を募集しました。申し込み者を対象に、チラシの作り方や、表計算を学んでいただき、それぞれのスキルアップとボランティア活動のレベルアップの支援をおこないました。ボランティアグループ同士の繋がりや関係作りをめざしました。

【事業成果】

開催日：平成 29 年 7 月 7 日（金）～平成 30 年 3 月 7 日（水）全 18 講座開催

参加者数：延べ人数 91 名

内容：「案内文を作ろう」「チラシを作ろう」「表計算の基礎」

「名刺、プライスカードを作ろう」「宛名ラベル」他

② ボランティア活動推進のための広報活動

社会的孤立防止対策見守り事業とコラボし、ボランティアセンターを紹介する 12 ページのブックレットを作成し、全戸回覧をおこないました。

また、ホームページや、社協かめおかでの広報に加え、新しく情報コーナー（パンフレットスタンド）をふれあいプラザ、エントランスホールに設置し、ボランティア情報提供や各ボランティアグループの紹介チラシの懸架など行いました。

③ ボランティアグループ運営相談・助成金相談

常時運営相談や助成金申請の相談支援を行っています。

平成 29 年度には、5 つのボランティア団体の民間助成金の採択がありました。

④ 集めて送るボランティア・ボランティア活動の推進

市民の方から寄せられた使用済み切手、プリペイドカード、書き損じはがきを、活動内容を事前に確認の上で、環境保護団体やハンディキャップのある子ども達を支援している団体に支援として適時送っています。

平成 29 年度、約 408,000 個のエコキャップが寄せられ、保険医療の恵まれない地域の子ども達や被災者支援の団体に送り、510 人分のポリオワクチンとして支援に使われました。またプルタブは、367.7kg 集まり昨年累計と合わせて 800kg に到達し、7 月に車いすの寄贈を受け、市民の方への貸出に使っています。

⑤ ボランティアの派遣調整（マッチング）

市民や福祉施設、各地のサロン等からのボランティアの派遣要請に対し、ボランティアグループや個人ボランティアを紹介しています。

この数年の中でボランティアセンターの周知も進み、依頼件数も増えています。

ボランティア活動への支援内容	H27	H28	H29
ボランティア派遣依頼（アトラクション等）	7	20	35
ボランティア派遣依頼（傾聴・健康講話等）	11	8	7
ボランティアグループ 運営相談支援	2	1	10
ボランティアを始めたい方への相談援助	4	6	3
その他ボランティア全般に関する相談	1	1	2

(2) 各種団体主催のボランティア講座・研修へ講師の派遣

講座名	開催日時・場所
亀岡地区東部地域住民講座 ～地域支援ボランティア講座～	日時：平成 29 年 8 月 5 日（土）10：00 分～12：00 場所：古世総合センター

【事業成果】

市民の方にボランティア活動への理解と、きっかけづくりを提供する目的で関わりました。

(3) 災害ボランティアセンターの運営・活動

○設立 平成24年9月1日

○目的 地震や水害などの災害発生時に、被災地での支援活動に従事する「災害ボランティア」を受け入れ、被災者のニーズを把握し災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点となる。

「被災者の日常生活への復旧支援」を目的に、災害時のボランティア活動を効果的・効率的に行うために平常時から訓練等を実施し、住民の防災・減災及びボランティア活動への意識向上を図っています。

【災害ボランティアセンター活動内容】

日付	会議・研修、活動等	内容
平成29年 4月20日(木)	平成29年度亀岡市総合防災訓練に係る第1回関係機関担当者会議	・平成27年度総合防災訓練の実施状況について ・平成29年度総合防災訓練の基本方針について ・平成29年度総合防災訓練の実施内容について (意見交換)
6月8日(木)	平成29年度亀岡市総合防災訓練に係る第2回関係機関担当者会議	・訓練全体計画(案)について ・訓練スケジュール(案)について ・会場レイアウト(案)について
6月11日(日)	平成29年度京都府災害ボランティアセンター総会 主催：京都府災害ボランティアセンター	・平成28年度事業報告・決算について ・平成29年度事業計画・予算について ・役員選出 ・報告
6月17日(土)	第23回日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練	・大規模かつ広範囲に及ぶ災害に対する、第4ブロック各府県支部の救護活動や被災者支援活動における各赤十字奉仕団を含めた相互支援、協力体制の充実と強化及び防災関係機関との連携を図ることを目的とする
6月30日(金)	平成29年度市町村社協災害ボランティア担当者会議(第1回)	・府内での取り組みの情報共通・意見交換 ・府社協の取組みについて情報発信 ・災害発生時の動きについて
7月6日(木)	平成29年度亀岡市総合防災訓練に係る第3回関係機関担当者会議	・時系列での訓練計画確認

日 付	会議・研修、活動等	内 容
7月10日(月)	平成29年度亀岡市 災害ボランティアセン ター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業報告・決算について 平成29年度事業計画・予算について 平成29年度亀岡市総合防災訓練について 研修 日本赤十字第4ブロック合同訓練について 講師：赤十字レスキューチェーン京都支部 山名 吉信 氏
8月3日(木)	平成29年度亀岡市総合防 災訓練に係る第4回関係機 関担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> 訓練シナリオについて 出動車両及び使用資機材について 訓練詳細の打合せについて
8月9日(火)	東別院小学校 (4年～6年 生17名参加) 夏休み 宿泊防災キャンプ への参加	<ul style="list-style-type: none"> 非常食の試食体験 避難所グッズ(段ボールベッド・段ボール パーテーション・簡易トイレ)の作成 亀岡ボーイスカウトに協力依頼をし、テント作り や飯盒炊爨・その他の野外活動を指導して頂いた。 子ども達に災害に向けた備えの大切さや防災に向け て意識作りが出来た。
8月17日(木)	平成29年度亀岡市総合防 災訓練に係る第5回関係機 関担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> 訓練全体計画最終確認 訓練スケジュール最終確認 会場レイアウト最終確認 訓練シナリオ最終確認
8月26日(土)	亀岡市総合防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティアセンター開設・運用訓練 緊急物資輸送・配給訓練 応急給水訓練 車中泊避難対応訓練 バケツリレー <p>災害ボランティアセンターの運用訓練において、 有事の際の動きの確認が出来た。また、登録ボラン ティアさんや各関係機関参加者にも、ボランティア としての動きや、運用側の動きを体験して頂くこと が出来た。また、市の訓練にも参加し防災・減災に 関する意識も高めていただくことが出来た。</p>
9月28日(木)	平成29年度亀岡市総合防 災訓練に係る第6回関係機 関担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> 訓練の総括について 訓練の実施結果について
10月15日(日)	「第30回市民福祉のつど い」	災害ボランティアセンターコーナーを設け非常食 の試食体験や、段ボールベッドや簡易トイレの設置、 熊本地震支援時の写真の展示など、来場者の市民の 方に防災意識を高めていただく取組みを行なった。

日 付	会議・研修、活動等	内 容
12月7日(木)	亀岡市女性のネットワーク会議	誰もが安心できる避難所づくり体験 ～男女共同参画の視点から防災を考えよう～ パワーポイントによる講義 避難所間仕切りパーテーションづくり 講師：京都府男女共同参画センター職員 谷口 睦子さん 災害時の避難所開設について、要配慮者のスペース確保の必要性は認識されてきている。実際にパーテーションづくりを体験することにより、避難所開設時に有効であると感じた。
12月28日(木)	京都府災害ボランティアセンタートップセミナー(2日目)	被災住民を中心とした支援を目指す災害ボランティアセンターの運営(開設期～閉鎖期)を推進するため、センター長に求められる役割、責任が多岐にわたることから災害ボランティアセンター運営時に役立つリスクマネジメントについて学ぶ。 「被災者支援の全体像をとらえて連携した対応が出来るか」
平成30年 2月28日(水)	京都府災害ボランティアセンタートップセミナー(3日目)	被災住民を中心とした支援を目指す災害ボランティアセンターの運営(開設期～閉鎖期)を推進するため、センター長に求められる役割、責任が多岐にわたることから災害ボランティアセンター運営時に役立つリスクマネジメントについて学ぶ。 「情報発信の極意、誰に何を発信していくか」
3月4日(日)	つつじ地区災害時における要配慮者支援模擬訓練	つつじヶ丘地区民児協では、「災害時における要配慮者の救助・誘導について」安全確保の実際を習得することとして、去年春以降から取組みを行なわれている。 今回は更に研修を効果的に進めるために模擬訓練を実施され、参加させて頂いた。 民生委員さんの実際の動きの確認、車いすの使い方体験、高齢福祉課長による避難所開設時の要配慮者支援について講義、討論会、亀岡消防による非常時の担架の使い方、非常食体験を通して、民生委員さんとの連携や、災害ボランティアセンターとしての役割の再確認が出来た。

【事業成果】

平成29年度の事業として、6月には日本赤十字社の救護訓練と災害ボランティアセンターの立上げ運用訓練を合同で実施し、協力体制の充実と強化及び防災関係機関との連携を図ることが出来ました。8月には亀岡市立東別院小学校からの依頼により、4年生から6年生対象の防災宿泊キャンプに参加しました。非常食体験や避難所開設時に必要な段ボールパーテーション、段ボールベッドや簡易トイレなどの避難所グッズと一緒に作成し、子ども達の防災意識を

高める取り組みを行ないました。また9月には亀岡市総合防災訓練の参画により、「亀岡市災害ボランティアセンター運用訓練」を行ない、災害時の速やかな初動体制への移行及び円滑なセンター活動のための活動訓練を実施し、平常時の体制強化を図ることが出来ました。

平成30年3月には、つつじヶ丘地区民児協で取り組まれた「要配慮者の救護・誘導について」の訓練に参加し、この地域での災害時の民生委員としての動きの確認や協力体制について一緒に検討することが出来ました。

防災に意識を向けて頂く取り組みを年間通して、各関係機関等と連携し、防災・減災に向けた取り組みを行うことが出来ました。

5. 福祉教育

市内の小中学校(計19校)で、福祉活動を展開しました。

(1) 障がい者・高齢者理解と福祉ボランティア体験事業

亀岡ボランティア連絡協議会や社会福祉施設、障がい者団体の協力を得て、児童・生徒を対象に、福祉教育の一環としてボランティア体験や講演を通して、障がい者・高齢者への理解等、福祉への理解を深める事業を実施しました。

(2) 夏休み社会福祉体験学習事業

夏休み期間中に中学生・高校生が、社会福祉施設や地域の様々な活動の場に参加し、子どもや高齢者、障がいのある人たちとのふれあいや交流などを通して、いのちの尊さや思いやり、やさしさ、人としての本当の強さを考える機会として実施しました。

・社会福祉体験学習の実施内容

- ・期 間 : 平成29年8月4日(金)、11日(金)、17日(木)
- ・参加人数 : 1名(高校生)
- ・体 験 先 : 高齢、児童、障害者施設を各1ヶ所ずつ体験

6. 各種団体への支援

① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における地域福祉・在宅福祉の増進に寄与するため各施設に関わる諸問題について協議し、各施設間相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。

日 時	事業名	内 容
平成29年 10月23日(日)	平成29年度 市民福祉のつどい【ガレリアかめおか】	いけばなりサイクルアート
12月5日(火)	亀岡市社会福祉施設協議会施設交流会	社会福祉法人の地域における取組と施設相互の連携強化
平成30年 2月14日(水)	地域貢献活動についての意見交換会	各地の福祉ニーズと地域貢献活動について

② 亀岡ボランティア連絡協議会

亀岡市社会福祉協議会に登録しているボランティア及びボランティアグループを統括し、関係機関と連携を図りながら、開催事業の計画及び実施を行っています。

日 時	事業名	内 容
平成 29 年 10 月 15 日 (日)	市民福祉のつどい【ガレリアかめおか】	喫茶コーナー、ボランティア体験コーナーとして参画
12 月 2 日 (土)	歳末たすけあい運動 街頭募金	市内 16 カ所 13 グループ 34 名参加

その他、市内小・中・高等学校への福祉教育・ボランティア体験学習への講師派遣、行政・障害者福祉団体への協力を行っています。

③ 亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障がい児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開し、障がい児者福祉への理解と発展のため積極的に取組まれています。会員は約 235 家族。

会議の出席・事業の支援を行っています。

④ 亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域 52 の老人クラブが加盟する約 2,600 名の組織です。その事務局として、年間を通じて行われるいろいろな行事の開催援助や、事業活動・団体運営の援助等を日常的に行っています。

日 時	事業名	内 容	備 考
平成 29 年 4 月 13 日(木)	正副会長会	前年度事業総括	相談室3
4 月 20 日(木)	正副会長会/監査 /理事会	前年度事業報告・決算報告・監査報告	世代間交流室
5 月 1 日(月)	会報発行	「市老連かめおか」第 14 号発行 3000 部	
5 月 10 日(水)	正副会長会	単位クラブ会長会準備	相談室3
5 月 10 日(水)	単位クラブ会長会	前年度事業報告・決算報告・監査報告	ガレリア大広間
5 月 18 日(木)	単位クラブ女性部長会	女性部総会、女性部事業計画	ガレリア大広間
6 月 8 日(木) ～9 日(金)	近畿ブロックリーダー研 修会	分科会にわかれ研修会、講演会、交流会	堺市
6 月 16 日(金)	日帰り研修旅行	平成 29 年度日帰り研修旅行(敦賀方面他)	247 名、39 クラブ
7 月 6 日(木)	正副会長会	各種事業についての審議	相談室3
7 月 13 日(木)	理事会	グラウンドゴルフ大会、市民福祉のつどい準備	世代間交流室
7 月 13 日(木)	広報委員会	グラウンドゴルフ大会、市民福祉のつどい準備	世代間交流室
8 月 3 日(水)	公式わなげ講習会	健康づくり事業 公式わなげ、講習とゲーム	ガレリア大広間
8 月 21 日(月)	広報委員会	会報発行準備・編集会議	相談室3
9 月 14 日(木)	正副会長会	老人週間・グラウンドゴルフ大会・定期大会について	相談室3
9 月 14 日(木)	理事会	老人週間・グラウンドゴルフ大会・定期大会について	世代間交流室
9 月 15 日(金) ～21 日(木)	老人の日・老人週間	全国老人クラブ一斉取組み	亀岡市内全域
9 月 25 日(月)	広報委員会	会報発行準備・編集会議	相談室3

日 時	事業名	内 容	備 考
10月2日(月)	グラウンドゴルフ大会準備	グラウンド整備、大会準備	月読橋球技場
10月3日(火)	グラウンドゴルフ大会雨天 順延	準備会議	ふれあいプラザ
10月4日(水)	グラウンドゴルフ大会開催	市長/議長/会長杯争奪 41チーム、246人出場	月読橋球技場
10月15日(日)	市民福祉のつどい	伝承あそびコーナー・ステージ踊り等参画	ガレリアかめおか
10月18日(水) ～19日(木)	全国老人クラブ大会	運営スタッフ協力、参加 (京都市開催)	ロームシアター
11月1日(水)	会報発行	「市老連かめおか」第15号発行 3000部	
11月20日(月)	定期大会等前日準備	開催準備、リハーサル、帳合い等	ガレリア大広間
11月21日(火) (終日)	定期大会・指導者研修 大会・健康事業講座	第35回亀岡市老連定期大会 ・指導者研修大会 健康講座	ガレリア大広間
11月21日(火) (午後)	丹波ブロック 若手委 員会「公式ワナゲ大会」	公式わなげ大会	丹波運動公園
11月29日(水)	京都府老人クラブ大会 市町村リーダー研修会	京都府老人クラブ大会 府老連主催、リーダー研修	ハートピア京都
12月2日(土)	歳末街頭募金活動	本部役員参加	亀岡市内全域
12月3日(日)	男女共同参画 女性集 会	本部役員・理事参加	ガレリアかめおか
12月7日(木)	正副会長会	新春会長・役員会・趣味の作品展準備	世代間交流室
12月14日(木)	理事会	新春会長・役員会・趣味の作品展準備	世代間交流室
平成30年 1月13日(土)	新春会長・役員会	新春会長・役員会	玉川楼
1月25日(木)	市町村老連事務局長会 議	府老連事業報告、事業計画他	ハートピア京都
2月7日(水) ～8日(木)	第33回 趣味の作品展	41クラブの279人出品、521点作品展示	ガレリア響ホール
3月15日(木)	正副会長会	年間計画、平成29年度総括/決算、平成30年度 予算	相談室3
3月15日(木)	女性代表委員会	平成30年度女性部役員選出	相談室2
3月15日(木)	理事会	平成30年度予算案審議、平成30年度日帰り旅 行選定	世代間交流室
3月15日(木)	広報委員会	「市老連かめおか」第16号発行準備	世代間交流室
3月23日(金)	単位クラブ会長会	年間計画、平成30年度予算/事業計画、旅行	ガレリア大広間
3月31日(土)	会計監査	平成29年度会計監査	相談室3
通 年 事 業	友愛施設訪問	施設に入所されている方への友愛訪問	
	友愛在宅訪問	見守りが必要な高齢者宅への友愛訪問	

⑤ 亀岡市母子寡婦福祉会

母子家庭や寡婦の皆さんが安心して暮らせる福祉社会を目指して、同じ立場の親子の「つながり」の輪が広がるよう、いろいろな活動をしています。

日 時	事業名	内 容
平成 29 年 5 月 13 日 (土)	第 1 回生活支援講習会	「日帰り旅行～箕面～」
8 月 6 日 (日)	第 2 回生活支援講習会	エコバックに絵を描こう
12 月 10 日 (日)	第 3 回生活支援講習会	親子でリース作り
12 月 17 日 (日)	第 4 回生活支援講習会	寄せ植え
12 月 24 日 (日)	ひとり親家庭の居場所づくり事業	書道教室
平成 30 年 1 月 13 日 (土)	母子寡婦福祉大会・新年のつどい	

7. 介護保険事業

(1) 訪問介護（ホームヘルプ）事業

○利用実績

年 度	稼 動 日 数 (日)	介 護 予 防 訪 問 介 護 (人)	訪 問 介 護 (人)	合 計 (人)
平成 27 年度	3 1 6	2 5 8	3 9 6	6 5 4
平成 28 年度	3 1 2	2 1 2	3 8 4	5 9 6
平成 29 年度	3 1 0	1 8 7	4 0 1	5 8 8

利用者が居宅において、可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的として、常に利用者の人格を尊重し、寄り添い、利用者が必要とする適切なサービスを提供しました。

(2) 通所介護・総合事業第 1 号通所（デイサービス）事業

○利用実績

年 度	稼 動 日 数 (日)	介 護 度 別 登 録 人 数 (年 度 末) (人)		利 用 者 延 人 数 (人)	1 日 平 均 利 用 者 数 (人)
		要 支 援	要 介 護		
平成 27 年度	3 0 8	1 4	4 8	6,427	2 0
平成 28 年度	3 0 6	1 6	5 2	5,860	1 9
平成 29 年度	3 0 9	1 3	5 7	5,692	1 8

・長期入院、入所、死去による利用中止 : 20件

* 通所介護

- ・ 中重度ケア体制加算の算定を継続
- ・ 認知症加算の算定を継続

要介護 1～5 で日常生活自立度のランクがⅢ、Ⅳ又はⅤに該当するご利用者の 1 ヶ月

あたりの実績平均が20%以上あり、提供時間帯を通じて認知症介護に係る実践者等の研修を修了した者を1名以上配置していること、職員体制が指定基準に加え常勤換算方法で2以上確保できたときに算定可能。

- ・Ⅲ～Ⅴに該当するご利用者について、1日につき60単位を加算できる。
- ・計画書を作成、説明し同意を得、実施・評価を行う。

＊ 介護予防通所介護

- ・介護予防通所介護から総合事業「第1号通所事業」へ移行済。
- ・生活機能向上グループ加算の算定を継続

○ 提供内容

- ＊ 一日の流れの中で、ご利用者の意欲を引き出す環境づくりに努め、グループ体操や脳トレ、手芸・折り紙等の物づくりに取り組むことで、生活機能の向上や活気ある生活作りにつなげることが出来た。またボランティアの方々に協力をいただき、地域との関わりや新しい催しの充実を行った。
- ＊ 年間行事やレクリエーションを計画することで、季節感を感じ気分転換が図れるように、また、共に楽しみ日々の生活をハリのあるものになるよう努めた。
- ＊ 利用者に安全に過ごしていただくために、移動・移乗時の見守り強化、午後からの業務内容・体制の見直しを行った。

季節のドライブ、バラ園散策、外食、季節のお茶会、要支援者の買い物
園児交流、調理レク、編み物、手作りレク、園芸、ボランティアによる口腔体操
民謡、認知症予防ゲーム、大正琴演奏、中学生の職場体験、実習生の受入

○ 環境整備

- ＊ 一般浴槽の経年劣化に伴い、タイル・目地の補修を行い、入浴環境を整え安全に入浴していただけた。

○ 職員研修

事業所内外での研修に参加することにより個人はもとより職員全体のスキルアップを図り、日常業務を見直すことができた。また、新しい情報を得、的確な介護や相談業務を行うことで安心して利用していただける施設作りにつながった。

(3) 居宅介護支援（ケアプラン作成）事業

【支援内容】

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った介護等に関する相談・助言。
利用者のニーズに応じた居宅サービス計画書を作成。
医療・行政機関や居宅サービスを提供する事業者等と積極的に連携しながら、公正・中立なサービスを提供。

① 居宅介護支援

○給付管理・認定調査件数

(単位：件)

	介護保険	介護予防	合計	訪問調査
平成27年度	786	87	873	56
平成28年度	821	67	888	49
平成29年度	751	71	822	37

※主な業務内容

- ・居宅サービス計画書を作成
- ・支援経過観察と再評価
- ・希望により施設入所への支援
- ・必要により居宅サービス計画の変更
- ・介護保険の給付管理
- ・要介護認定等の申請に係る援助

② 在宅介護支援

○相談件数

(単位：件)

	電話	来所	訪問
平成27年度	25	12	18
平成28年度	42	9	14
平成29年度	46	12	15

※主な相談内容

- ・介護保険申請に関する相談
- ・住宅改修に関する相談
- ・ベッドや車いすなど福祉用具に関する相談
- ・入退院または入退所に関する相談

※亀岡市高齢福祉サービスの利用に関する、各種申請のお手伝いを行いました。

- ・高齢者の生活を支援するサービス
緊急通報装置の設置など
- ・介護をしている方を支援するサービス
在宅高齢者介護激励金の支給・介護用品の支給など

8. 障害者自立支援給付事業(ホームヘルプ)

○利用実績

年度	稼働日数 (日)	身体障がい者(人)	身体障がい児(人)	知的障がい者(人)	精神障がい者(人)	合計(人)
平成27年度	316	171	56	20	116	363
平成28年度	312	144	42	15	160	361
平成29年度	310	134	60	42	125	361

【事業目的】

障害者総合支援法に基づく、障害者自立支援給付事業(ホームヘルプ)に取り組み、それぞれ

の事業の質・サービスの向上を図り、常に利用者の視点に立ち、利用者が居宅において、より安心・安全で可能な限り自立した日常生活が営めるように支援するサービスを提供しました。

*サービスの質・技術向上のため、様々な研修に取り組みました。

9. 子育て支援事業

(1) ひろば事業

家族でいつでも好きな時に来館し、親子で自由に遊べる「かめおっこひろば」では、保護者どうし、世代を越えた交流の場として、本年度は約2万5千人の利用がありました。

○ふれあいルーム利用状況（団体利用を除く）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
平成28年度	開館日数(日)	26	27	25	27	27	25	26	26	24	23	24	26	306	
	利用人数(人)	1,923	1,914	2,458	2,349	2,341	2,252	1,889	1,829	1,753	1,675	1,908	2,207	24,498	80
平成29年度	開館日数(日)	26	27	25	27	26	25	27	25	24	24	24	26	306	
	利用人数(人)	2,143	1,969	2,121	2,309	2,544	2,332	2,181	2,017	1,743	1,701	1,878	2,258	25,196	82

○利用者カードの発行

新規利用申込者数 平成29年度：774人（平成28年度 817人）

○成果と課題

- ・ 今年度新規登録者は前年数を下回りましたが、ひろば利用者総数は、約700人上回りました。母親のネットワークでかめおっこひろばが子育て家族により知られるようになったことや、リピーターが増加していることが原因と考えます。
- ・ 曜日別に見ると、平日では、水曜日（19%）火曜日（17%）金曜日（17%）の利用が多く、土日の利用も平日と同程度見られます。土日の利用は、一家族当たりの人数も多く、父親や祖父母の来館も目立ちます。また、主に平日利用している親子の土日利用が増えていることも最近の傾向であるといえます。
- ・ 利用者を年齢別に見ると、0歳児（39%）1歳（23%）2歳児（18%）と年齢を追うごとに減少する傾向にあります。年々保育所に入る時期が低年齢化しているためだと考えます。
- ・ 利用者にとってより身近で安心して遊べる場所となるよう、これまで以上に努めるとともに、もっと多くの市民に知ってもらうために、広報に力を入れていきたいと考えます。

(2) つどい事業

○事業実績

事業名・対象	実施回数	参加人数	実施日	実施内容	講師・協力団体等
プレびよひろば 妊娠中	6	83	隔月金曜日	わらべうたベビーマッサージと交流会 ベビークラウン作りと交流会 プレママとびよママの交流会	森中美由紀さん
ひよこひろば 妊娠中～6ヶ月	12	466	毎月第2水曜日	発達のお話 ふれあい遊び 保護者の交流会 寝相アート	保健センター保健師 芦田澄子さん 主任児童委員 湯浅和江さん
ひよこひろば 7ヶ月～12ヶ月	12	623	毎月第4水曜日	すくすく相談（離乳食について） 1歳のお誕生会 絵本の紹介、読み聞かせ、テーブルシアター ふれあい遊び 保護者の交流会	長瀬栄養士 主任児童委員 丸山礼子さん 湯浅和江さん
きりんのひろば 1歳～2歳未満	6	189	5月16日 6月20日 7月18日 10月17日 11月15日 2月20日	バラバルーン遊び 感触遊び 新聞紙遊び フェイスペインティング遊び リトミック リズム遊び	榎麗子さん 岩崎真理子さん
うさぎのひろば 2歳以上 (不定期)	5	174	4月11日 5月31日 6月21日 8月29日 3月27日	バラバルーン遊び リトミック 感触遊び 新聞紙遊び リズム遊び	榎麗子さん 岩崎真理子さん
みんなのひろば 全年齢	5	436	4月19日 7月25日 11月21日 1月16日 3月20日	音楽会・紙芝居・人形劇など	オカリナサークルtururu みなみのかぜ UFOT 2 1 ミュージックパーク 亀岡子どもの本研究会
親子体験事業	2	79	10月29日 2月3日	ハロウィンイベント 3B体操	井上八千代さん
子育て講座	4	146	5月27日 6月27日 9月23日 1月31日	講演「大切な命を守るために」 講演「絵本の読み聞かせからみる母子の心の育み」 体験「絵本の読み聞かせと、絵本に登場する たいこのおもちゃ作り」 講演「遊びを支える見る力～みて、わかって、動ける力を学ぼう」	山本淳仁さん 加藤美帆さん 内藤千鶴さん 高野芳子さん
世代間交流事業	8	482	6月3日 5月19日 8月2日 10月31日 10月13日 12月20日 2月24日 3月14日	第1回多胎児家族交流会本梅 東本梅保育所園児との交流 東本梅保育所園児との交流 保津保育所園児との交流 おひさまとの交流 クリスマス会（世代間交流） 第2回多胎児家族交流会 別院保育所との交流	東本梅、本梅保育所 保津保育所 別院保育所 花の木児童発達支援センター「おひさま」 ミュージックCOCO のぞみの会
子育てネット ワーク事業	5	84	6月12日 9月15日 1月29日	普通救命講習会	京都中部広域消防組合の救急救命士
			5月15日 3月5日	子育てサークル代表者交流会	各子育て支援者・子育てサークル代表者 市役所こども未来課 亀岡子育てネットワーク代表 多胡麻衣さん 共生ケア「かめっこの会」 丸山礼子さん
絵本のひろば	12	499	毎月第2金曜日	絵本の紹介、絵本相談など	北川チハルさん (絵本作家)
合計	77	3,261			

○成果と課題

- ・ 今年度も多くの事業を利用者に提供することができました。それぞれの事業のねらいをしっかりとってひとつひとつ丁寧に行うことができたと考えます。特に、赤ちゃんを産んでからまず訪れる「ひよこひろば」は、年間24回あり、初めて子どもをもつ母親にとっては相談の場であり、母親同士がつながりをつくる場でもあります。今年度は初めて寝相アートやベビーマッサージを取り入れました。まず、「かめおかつひろばに行ってみよう」と思ってもらえるきっかけづくりとして十分だったと考えます。この事業をきっかけに普段来館して親子や友だち、スタッフと交流することにより、孤立してしまいがちな乳児期の子育て支援に少しでも役立てればと考えます。
- ・ 今年度は、新しく図書館の館長、社協内部から講師を招き、それぞれ事業を企画し、参加者から好評を得ました。社会資源の活用により、事業の内容に厚みが増したと考えます。
- ・ 3歳になると同時に、幼稚園に入園する子どもも多くなっています。そのため2歳児のつどい事業では幼稚園入園を見通した内容を工夫していく必要性があります。来年の課題として取り組んでいきます。

○出前ひろば

- ・ 亀岡市立保育所子育て支援推進員、主任児童委員、子育て支援実践者等の皆様と連携して、地域における身近な場所で親子が集い、人々との交流から、安心と喜びが生まれる地域づくりをすすめました。

場 所	回数 (回)	家庭数 (件)	参 加 者 数 (人)				
			子ども	保護者	世代間	スタッフ	合 計
畑野健康ふれあいセンター	1	7	7	8	8	11	34
穂田野生涯学習センター	2	18	20	19	14	19	72
亀岡市立図書館中央館	4	53	56	53	0	59	168
西つつじヶ丘ふれあいセンター	2	14	18	15	0	20	53
合 計	9	92	101	95	22	109	327

○成果と課題

- ・ 昨年度のひろば事業の内容を更に見直し、保護者同士の交流の時間を長くとっていきました。何度も参加されている保護者が自発的にリードしてお話を進める姿がみられ、初めて参加された保護者もすぐに打ち解けて話が弾んでいました。民生委員児童委員の方にパネルシアターや劇ごっこなど積極的に参加してもらいました。その事でより親近感が湧き、子どもたちは抱っこしてもらったり、膝の上に乗せてもらったりし、保護者は安心して交流会で話げできました。民生児童委員と子育て家庭との距離がより一層近くなったように感じます。
- ・ 亀岡市立図書館との連携の中で、絵本の読み聞かせをしていただいていることが定着し、

大人も子どもも絵本の時間を楽しみに参加される様子が見られます。

- ・ 住んでいる地域の方だけでなく、地域を越えての参加が年々多く見られます。昨年度より参加人数は増えていることから、出前ひろばが親子で集える場として定着してきていると考えます。

(3) 亀岡市子育て支援センター開館15周年記念事業

今年度は、子育て支援センター「かめおかつひろば」が開館15年を迎えるにあたり記念事業として、「かめおかつ同窓会」行いました。多くの関係者のご協力のもと、無事終えることができました。

開催日	平成29年7月31日
開催場所	ふれあいプラザ内 ふれあいルーム かめおかつひろば
参加総数	132人（大人74人 子ども58人）
内容	第1部 記念式典 第2部 子育てサークルさんと遊ぼう！

○成果と課題

- ・ 亀岡市で活動する子育て支援者、子育てサークル、主任児童委員、歴代子育て支援センター長、子育て支援センター事業協力者など、多方面から大勢の方が参加していただき、子育て支援センター利用の子どもや保護者とともに、盛大に15周年を祝うことができました。今後も地域で培ったつながりをいかながら、地域子育て支援拠点事業の一層の充実を目指していきたいと考えます。

(4) 相談事業（おひさま）

子育てに関する日常的な相談にスタッフが対応し、より専門的なことは他機関との連携を大切に取り組んでいます。

○相談件数

(単位：件)

相談事項	電話相談	来所相談	合計
食 事	1	52	53
排 泄	0	19	19
睡 眠	1	15	16
身体・健康	1	60	61
情緒・社会性	1	12	13
ことば	0	10	10
子ども同士の関わり	0	3	3
学校教育・幼児教育	2	6	8
母親支援	1	275	276
その他	3	7	10
苦 情	0	0	0
合 計	10	459	469

○成果と課題

今年度は、延べ469件の相談がありました。遊びに来た時に、スタッフと話をすることで子育ての悩みや不安が解消し「すっきりした」、「聞いてもらって嬉しかった」と笑顔で帰られる姿が見られました。ここに来ればいつでも気軽に話が出来るという雰囲気ができていると考えます。今後も専門相談員を中心に、全スタッフで相談対応にあたっていきます。また、来館される保護者同士が子どもを介して会話が弾み、スタッフが入るまでもなく、その場で悩みが解決される様子もうかがえました。子育て支援センターが子どもにとっても保護者にとっても大切な場になっている事を感じます。電話での相談もあり、外に出られず、子育てに困っている方にとってはとても大切であると考えます。今後は幅広く広報をしていくと同時に、支援センターに行けば「話を聞いてもらえる」「相談できる」という場の定着をしていけるよう、努めていきます。保護者に寄りそい、丁寧であたたかい相談対応を今後していきたいと考えています。

(5) 妊婦来館推進事業

妊婦からの子育て支援として、前年度より妊婦来館推進事業を始めました。保健センターと連携をとり、母子手帳を取りに来た妊婦に支援センターの案内や子育ての輪（赤ちゃん用のおもちゃ）のプレゼント券を渡して、支援センターが妊婦とつながるきっかけを作りました。

【妊婦登録者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	0	4	0	6	5	6	1	9	2	0	7	5	45
平成29年度	5	13	12	2	5	6	7	3	4	4	6	13	80

【成果と課題】

- ・ 今年度は、妊婦登録者が前年より、約1.8倍増加しました。去年度から始めた妊婦来館事業が保健センターとの連携のもとに少しずつ定着していると考えます。
- ・ 妊婦登録とともにお渡しする「子育ての輪」の製作は、今年度は、小松寺の井上さんが担って下さいました。自宅（お寺）に子育てをするお母さんたちを招いて、1年間でたくさん「子育ての輪」を作ってください、妊婦さんに手渡すことができました。
- ・ 妊婦登録をきっかけに、妊婦の「プレびよひろば」に参加する方も多くなっています。ただ、妊婦登録者は第2子、3子を出産する方の割合が非常に高く、第1子出産の方が非常に少ないのが課題です。第1子出産の方は、妊娠中も働いている方が多く、平日のひろばへの参加が難しかったり、子どもがいないため、子育て支援センターに足が向きにくい傾向にあるためだと考えます。
- ・ これからも、妊娠期からの子育て支援を充実させるため、より魅力的な内容を計画するとともに、ひろく市民に知ってもらえるよう広報に努めたいと考えます。

(6) 情報提供事業

○情報誌「かめおかつひろば おたより」の発行

- ・ 毎月1回（年間12回）

- ・発行部数 毎号200部
- ホームページによる広報
- Face bookによる子育て支援センターの事業情報の提供

(7) 子育てサークル・サロン支援

- ・実施団体数 : 10団体
- ・開催日数 : 延回128回
- ・参加人数 : 延3192名

(8) チャイルドシート貸出事業

○チャイルドシート貸出台数 (台)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
平成28年度	7	2	5	10	9	5	9	7	15	7	3	6	85	7
平成29年度	9	5	7	13	7	1	5	7	13	4	3	11	85	7

※ゴールデンウィーク前の4月後半、夏休み～お盆にかけての7月後半～8月、年末年始の12月は家族の帰省中に利用する方が多く、貸出台数が増加している傾向があります。

(9) ファミリー・サポート・センター事業

ア. 相互援助活動事業

子育ての援助を受けたいおねがい会員と、援助を行いたいまかせて会員により会員組織をつくり、会員相互の信頼関係のもとに、地域の人が子育て家庭を支援していきます。ファミリー・サポート・センターは、安心して子育てができる環境作りをサポートしています。

○登録会員数

	全 会 員 数 (人)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
おねがい会員	498	493	510
まかせて会員	183	208	238
両方会員	74	73	72
合 計	755	774	820

イ. 相互援助活動件数

○実績 (単位: 件)

	活 動 内 容	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1	保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	108	59	44
2	保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	130	101	108

	活 動 内 容	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
3	保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	3	0	7
4	小学校の放課後の預かり	2	0	5
5	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	1,003	1,527	896
6	学童保育の帰宅後の預かり	8	0	0
7	子どもの病気の援助	7	1	1
8	子どもの習い事等の場合の援助	689	614	539
9	保育施設・学校など休みの時の援助	22	19	43
10	保育施設など入所前の援助	0	0	0
11	保護者等の短時間・臨時就労の場合の援助	28	9	38
12	保護者等の求職活動中の援助	0	0	0
13	保護者等の冠婚葬祭による外出・他の子どもの学校行事の場合などの援助	4	4	0
14	保護者等の外出の場合の援助	4	19	10
15	保護者等の病気、その他急用等の場合の援助	2	31	38
16	その他	290	134	31
合 計		2,300	2,516	1,760
新 会 員 登 録 数	おねがい会員	47	48	86
	まかせて会員	5	18	18
	両方会員	1	6	10
	合 計	53	72	114
マッチング件数		60	69	64

○成果と課題

- 今年度は新規会員獲得にむけ出張説明会などに力を入れ、おねがい会員登録者が40人近く増えました。依頼内容は学童保育の迎え及び帰宅後の預かり、習い事への送迎が多いです。

今年度はまかせて会員講習会に子育て中の方の参加もたくさんあり、これからの戦力になっていただけると期待をしています。これからもいろいろな機関へ出向き、会員確保にむけての活動をしていきます。

ウ. 会員活動実績

○交流会実績

	実 施 日	参加人数	内 容
全体交流会 「おたのしみ 交流会」	平成 29 年 7 月 9 日(日)	121人	・太鼓やマラカスを作ったり、パラバルーンで遊んだあと、ゲストの小川一美さん・坂庭寛悟さんと一緒に歌を歌ったり、手遊びをしてあそびました。
会員交流会 「3B体操」	12月8日(金)	12人	講師：井上 八千代さん ・3つの道具を使っての3B体操で体を動かしました ・会員同士グループに分かれてファミサポの活動について話をし、交流を深めました。

	実施日	参加人数	内 容
会員交流会 「料理交流会」	平成30年 2月7日(水)	15人	講師：竹岡 順子さん ・体の温まる季節の材料を使って出来るメニューを教 えてもらい、料理を作りながら話もはずみました。 ・会員同士グループに分かれてファミサポの活動に ついて話をし、交流を深めました。
合 計		148人	

○成果と課題

① おたのしみ交流会

- ・ まかせて会員は「まかせてスマイルさん」として、事前に集まり太鼓やマラカス作りの準備をしてもらいました。作業をする中で会員同士の話も盛り上がり交流もできました。

当日はコーナー遊びを担当してもらい、「みんなで歌おう！」の手遊びの時にはペープサートを持ってステージにあがり、スタッフと一緒に交流会を盛り上げていただきました。

- ・ おねがい会員は家族連れで参加され、会員以外の方の参加もたくさんありました。
- ・ ゲストの小川さんご自身もファミサポのまかせて会員として活動してくださっており、ファミサポの活動内容を広報する良い場になりました。
- ・ ファミサポ会報誌、ファミサポホームページ、亀岡市広報誌「キラリ☆亀岡」などで広く広報することでたくさんの参加があり、交流会の様子はfacebookで市民の方々に知らせることができました。

② 料理交流会

- ・ 料理交流会は子育て中の方にも人気がありたくさんの方の参加がありました。難しいと思っていたメニューが意外と簡単に作れ、料理を一緒に作る事で会員同士の距離も近くなりました。食事をしながらの交流会では自己紹介も兼ねながら、長年まかせて会員として活動してこられた方の話を聞いたり、世代を超えた交流もできました。

③ 3B体操

- ・ 3つの道具を使って、体を動かすことの心地よさを感じることができました。
- ・ 3B体操のあとで、少人数に分かれて交流会をしました。亀岡に引っ越してこられた方も多く、近所に知り合いの方がおられなくて不安だったが、ファミサポに登録することで、子育ても安心してできるというお話も聞くことができました。

- * 会員同士が会う機会が少ないので、いろいろな交流会を開催することで交流を深めることができました。来年度も会員の意見を取り入れ有意義な交流会にしていきたいです。

○講習会実績

(単位：人)

講習会名	開催日	内 容	参加者数
第1回 まかせて会員講習会	平成29年 6月5日(月)	説明会・登録会	7
		子どもの権利(人権)について	8
		子どもの安全と身近な事故の応急処置について	7
	6月6日(火)	子どもの発達、生活習慣と遊び	9
		まかせて会員として活動をするために	8

講習会名	開催日	内 容	参加者数
子育て支援 ネットワーク事業	6月12日(月)	普通救命講習会AED	8
第2回 まかせて会員講習会	9月4日(月)	説明会・登録会	5
		子どもの権利(人権)について	7
		子どもの発達・生活習慣と遊び	8
	9月5日(火)	子どもの安全と身近な事故の応急処置について まかせて会員として活動をするために	9 8
子育て支援 ネットワーク事業	9月15日(金)	普通救命講習会AED	4
フォローアップ 講習会	5月27日(土)	防災について「大切な命を守るために」	14
レベルアップ 講習会	9月26日(火)	京都市市民防災センター視察	7
	平成30年 1月22日(月)	説明会・登録会	7
		子どもの発達、生活習慣と遊び	11
		子どもの安全と身近な事故の応急処置について	9
	1月23日(火)	子どもの権利(人権)について まかせて会員として活動をするために	9 10
子育て支援 ネットワーク事業	1月29日(月)	普通救命講習会AED	7
合 計			162

○成果と課題

① まかせて会員講習会

- ・ 今年度のまかせて会員講習会は子育て中の方もたくさん受講をしてくださり、ファミサポの活動が若い世代の中に根付いてきているのがわかります。
- ・ 会員講習会では子どもの安全について・子どもの発達についてなど、まかせて会員として活動するうえで大事にしなければいけないことを詳しく知ることができました。
- ・ まかせて会員講習会受講後、子育て講座などの託児をお願いし、実際に託児を経験することで実活動に向けてのイメージがしやすくなりました。

② フォローアップ講習会（防災について「大切な命を守るために」）

今年度は「防災について」をテーマにし、社会福祉協議会の職員に「大切な命を守るために」という題で話をしてもらいました。「もし、大きな地震が起こった時に自分たちはどう動けばよいか？」をシュミレーションしてグループごとに話をしました。いつ起こるかわからない自然災害、いざという時にどう対処したらいいかを常に考えるとともに、日頃から防災グッズなどを備えておく必要性を感じました。

③ レベルアップ講習会（京都市市民防災センター視察）

- ・ 京都市市民防災センターで震度7の体験、強風30Mの体験、消火器の操作などを実際に体験することで、災害に対する恐怖を知るとともに、災害時あわてずに行動することが大切だとわかり、視察に参加された方からは有意義な時間が持てたという感想がいただけました。

10. 第30回市民福祉のつどい～つながりあおう 地域の輪！かめおかの輪！～

(1) 内容

◇オープニングセレモニー

手話コーラス「四季の会」（ふれあいフェスティバル）

◇開会式

- ・表彰（亀岡市社会福祉協議会）

市社協から地域福祉の向上に功績のあった方々に対して表彰及び感謝状を贈呈しました。

会長表彰	個人3名	3団体
職員表彰	職員4名	登録ヘルパー1名
	生活支援員2名	
感謝状贈呈	7団体	

◇アトラクション

- ・盲導犬デモンストレーション（国際ソロプチミスト亀岡・関西盲導犬センター）
- ・うたってあそぼう（亀岡市子育て支援センター）
- ・和太鼓演奏（和太鼓クラブ「DON 舞」）
- ・よさこい（よさこいサークル柴踊屋）
- ・花笠音頭・丹波音頭・五輪音頭（亀岡市老人クラブ連合会）
- ・歌姫による懐メロ&バンド演奏（UFOT21&歌姫みはる）
- ・キッズチアダンス（カワイダンスエージェンシー）

◇1 階 ロビーギャラリー

ボランティア活動紹介コーナー他・喫茶コーナー（ボラ連）

福祉の店（亀岡福祉会・太陽共同作業所・ワークスおーい・たのしくはたらく・国際ソロプチミスト）・福祉なんでも相談（社会福祉士会）・里親相談（家庭支援総合センター）・認知症啓発・相談（オレンジロードつなげ隊）・デイ部会合同作品展（デイ部会）・車椅子貸出、集めておくるボランティア（市社協）・生きがい活動教室作品展・亀岡市内サロンマップ・「いけばな・リサイクルアート」ブース（施設協）・災害ボランティアセンター

資材・避難時のグッズ展示・非常食体験コーナー（時間限定）

イベント募金（ポップコーン・スーパーボール）（地区社会福祉協議会）

- 模擬店** ○ うどん（亀岡市子ども育成連絡協議会）
綿菓子（支援センター圭）
ホットケイモ（たのしくはたらく）
料飲連合会

◇1階 コンベンションホール

チャリティーバザー（亀岡市民生委員児童委員協議会）
民生委員おはなしコーナー

◇1階 日本庭園前

こども広場【遊びのコーナー】（ボーイ・ガールスカウト）
ミニ新幹線乗車コーナー（保津川ライブスチームクラブ）

◇わくわくふれあい広場

工作室

- ・ミニ帽子作り（亀岡地区更生保護女性会）
- ・伝承あそび（亀岡市老人クラブ連合会）
- ・おりがみあそび（亀岡市障害者を守る協議会）
- ・大豆つかみ・大豆かるた（大塚製薬株式会社）

創作室

- ・親子ふれあい遊び（児童部会）

◇ふれあいプラザ

子育て支援センター

ファミリーサポートセンター紹介

◇ふれあいプラザ内世代間交流室

子育て支援センターかめおかっこひろば

ファミリーサポートセンター事業紹介

◇お楽しみ抽選会

（2）実行委員会の開催

- ・開催回数 2回（平成29年8月22日(火)・11月27日(月)）
- ・構成団体 45団体

【実績報告】

「つながりあおう！地域の輪！かめおかの輪！」をテーマに障害児者、高齢者、親と子、世代を超えてさまざまな人が集い、交流しお互いに思いやり、共に支え合うまちづくり、福祉コミュニティの形成を目指して、地域福祉の輪を広げることを目的に開催しています。

特に今回は第30回の記念となる開催であり、新たな内容として亀岡市と健康・生きがい・まちづくり推進に係る協力協定を結ばれている大塚製薬（株）さんによる大豆つかみ・かるた、亀岡ライブスチームクラブさんによるミニ新幹線・電車コーナーもあり子供たちも楽しんでいました。また新規のアトラクションとして、佛教大学のよさこいサークル柴踊屋による披露などがありました。若い方の参画で会場が活気づき来場者の皆様により楽しんで頂くことが出来ました。

また、非常食の試食にたくさんの方が参加され、段ボールベッドや簡易トイレなどの展示もさせていただく中、防災意識の啓発にもなりました。

構成団体（順不同）45 団体

亀岡市民生委員児童委員協議会
亀岡市社会福祉施設協議会
亀岡保津川ライオンズクラブ
亀岡市身体障害者福祉協会
亀岡ボランティア連絡協議会
日本ボーイスカウト亀岡第1団
ガールスカウト京都第57団
亀岡市障害児者を守る協議会
亀岡市子ども会育成連絡協議会
亀岡スポーツ推進委員会
亀岡デイ部会
京都府家庭支援総合センター
京都丹波オレンジロードつなげ隊
(福)友愛会 亀岡友愛園
(福)松花苑ワークスおーい

亀岡地区社会福祉協議会
曾我部町地区社会福祉協議会
保津町社会福祉協議会
吉川町地区社会福祉協議会
本梅町地区社会福祉協議会
葺田野町地区社会福祉協議会
篠町地区社会福祉協議会
宮前町地区社会福祉協議会
亀岡地区東部社会福祉協議会
東つつじヶ丘地区福祉協議会
南つつじヶ丘地区社会福祉協議会
亀岡地区中部社会福祉協議会
京都社会福祉士会
(福)信和福社会 圭の家
(福)亀岡福祉会

亀岡青年会議所
亀岡商工会議所女性会
亀岡地区更生保護女性会
亀岡ライオンズクラブ
亀岡ロータリークラブ
亀岡中央ロータリークラブ
国際ソロプチミスト亀岡
亀岡市母子寡婦福祉会
太陽共同作業所
亀岡市老人クラブ連合会
かめおか遊友ネットワーク
亀岡飲料連合会
(株)みんなではたらく
亀岡市
亀岡市社会福祉協議会

(3) 協賛先名簿 (順不同、敬称略)

No.	企業名	No.	企業名	No.	企業名
1	(協)亀岡ショッピングセンターアミティ	37	農事組合法人 千ヶ畑営農組合	73	竹 岡 醬 油 (株)
2	S A I W A I B r a i n s	38	パティスリーシェ・サンタ	74	内 藤 印 刷 (株)
3	犬 甘 野 営 農 組 合	39	開 け ゴ マ ・ 齋 藤 鍼 灸 院	75	前 田 興 業 (株)
4	医 療 法 人 吉 岡 整 形 外 科 医 院	40	藤 村 種 苗 園	76	江 守 石 油 (株)
5	魚 留 河 原 町 店	41	平 壤 亭	77	南 丹 清 掃 (株)
6	浦 田 歯 科 医 院	42	ホームセンターコーナン亀岡大井店	78	能 勢 ク リ ー ニ ン グ (株)
7	エ イ コ 美 容 室	43	保 津 町 自 治 会	79	マ ル ホ ン 自 動 車 (株)
8	オ ク ノ 電 化	44	保 津 町 社 会 福 祉 協 議 会	80	マ ン マ ル 産 業 (株)
9	カ フ ェ た ん ぼ ぼ	45	本家かまどや クニッテル店	81	矢 田 石 油 (株)
10	サ ロ ン ・ ド ・ は る	46	マ イ ン ク ラ フ ト	82	渡 辺 製 菓 (株)
11	亀 岡 金 融 会	47	亀 岡 石 油 商 業 組 合	83	八 千 代 ケ ア サ ポ ー ト (株)
12	亀 岡 商 工 会 議 所	48	薪 窯 パ ン ふ く く る	84	山 口 電 機 (株) つ つ じ ヶ 丘 支 店
13	あ ず き の 里 京 菓 子 ふ じ 幸	49	松 井 春 樹	85	(株) ウ イ ズ
14	木 曾 精 肉 店	50	圓 山 縫 製	86	(株) 京 都 協 同 管 理
15	木 村 測 量 登 記 事 務 所	51	山 内 ス ポ ー ツ	87	(株) ウ エ ダ
16	京 懐 石 中 ざ わ	52	山 田 精 巧 社	88	(株) 魚 留 大 井 本 店
17	京 都 信 用 金 庫 亀 岡 支 店	53	夢コスモス園プロジェクト実行委員会	89	(株) 栄 好 工 務 店
18	京 都 農 業 協 同 組 合	54	龍 潭 寺	90	(株) エ ス ・ ア ー ル ・ エ ム 南 丹 支 店
19	京 都 北 都 信 用 金 庫 亀 岡 支 店	55	湯の花温泉観光旅館協同組合	91	(株) カ ー シ ョ ッ プ ・ ナ カ イ
20	さ か 井 食 堂	56	洋菓子館 ベルジェノア	92	(株) コ ク ボ
21	サ ラ ダ 館 篠 店	57	(有) 楠 新 聞 舗 南 丹 旅 行	93	(株) 三 焔 産 業
22	三 究 プ リ ン ト	58	(有) オ ビ ヤ 商 事	94	(株) 親 愛
23	塩 武	59	(有) 関 西 整 備 車 検 セ ン タ ー	95	(株) ダ ス キ ン 双 和
24	税 理 士 法 人 b e	60	(有) 倉 昇 工 務 店	96	(株) 天 声 社
25	す み や 亀 峰 庵	61	(有) ケ イ フ ー ズ	97	(株) ビ ー ・ ネ ク ス ト
26	税 理 士 法 人 平 田 会 計 事 務 所	62	(有) サ ー テ ィ ワ ン	98	(株) 平 和 堂 ア ル プ ラ ザ 亀 岡
27	田 中 紙 店	63	(有) 沼 田 モ ー タ ー ス	99	(株) 八 百 捨
28	タ マ テ ル 吉 村 信	64	(有) 光 嶋 建 築 事 務 所	100	(株) 松 園 荘
29	中 華 料 理 広 東	65	(有) 雅	101	(株) マ ツ モ ト
30	中 国 料 理 彩 桂	66	(有) 矢 田 商 店	102	(株) や ま ざ き 商 店
31	天 然 酵 母 パ ン グ リ ム	67	(有) 楠 新 聞 舗	103	(株) 栄 広 堂
32	朝 日 堂	68	(有) 山 本 乳 販	104	(株) 小 城 製 菓
33	と く 湊	69	大 石 酒 造 (株)	105	(株) 小 林 製 作 所
34	十 倉 康 吉 商 店	70	京 都 タ ク シ ー (株)	106	(株) 前 平 電 機
35	西 岸 寺	71	新 京 都 タ ク シ ー (株)	107	(株) 伊 藤 園
36	西 台 卓 球 場	72	玉 川 楼 (株)	108	匿 名 1 件

11. 共同募金事業

○赤い羽根共同募金募金実績（亀岡地区支会扱い）

区 分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
戸別募金	6,463,714 円	6,621,099 円	6,625,877 円
その他	1,155,522 円	1,049,472 円	1,785,455 円
合計	7,619,236 円	7,670,571 円	8,411,332 円

○赤い羽根共同募金「募金機能付き自動販売機設置」

売上げの一部が共同募金会の募金となり、地元の地域福祉に還元される自動販売機の設置を推進。

市内設置場所 ガレリアかめおか（余部町） 3台
 東部文化センター（篠町） 1台
 亀岡市シルバー人材センター（追分町） 1台（平成29年2月6日設置）

○イベント募金

市全体を対象に実施されるイベント（光秀祭り等）と各地域で行われるイベント（夏祭りや世代間交流になる住民イベント等）にわけて市社協として参画しました。各イベントにおいて、「綿菓子」や「ポップコーン」、「ワッフル」、「スーパーボールすくい」を販売し、販売した売上金額から材料費を差引いた額を募金といたします。

募金の使い道は「亀岡市のまちを良くするための地域福祉活動」や各地域へ共同募金事業の助成金として還元し「各地域に沿った課題解決事業」として活用していただきます。

イベント名	募金額
大本観桜茶会	42 円
第45回亀岡光秀祭り	85,455 円
わきあいあい安町	7,055 円
ハピネスライフかめおか	4,100 円
蒔田野町夏祭り	2,100 円
湯ノ花平区夏祭り	4,300 円
第30回市民福祉のつどい	30,980 円
東部フェスタ	13,313 円
看看楽市	8,900 円
宮前町民フェスタ	11,823 円
吉川町民フェスタ	7,732 円
東本梅ふれあいまつり	4,100 円
合 計	179,900 円

○ 助成金実績

各事業分野		対象事業	目的等	助成団体数	助成額
特別枠		本会が特に福祉効果が高いと認めた福祉推進事業		5 団体	600,000 円
住民全般			災害見舞金支給事業		20,000 円
1 地域を知り、住民参加を図る	A	福祉マップの作成・更新	支援を要する方や地域内の福祉関係施設・機関の地図の作成。	0 団体	0 円
	B	わたしたちの周りの福祉問題を考える会の実施	各町全体または各区ブロック毎で、地域の福祉問題等を話し合う。当事者（一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等）毎に懇談会の実施。	2 団体	150,000 円
	C	アンケートの実施などによる活動調査	当事者（一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等）の生活課題アンケート等により把握する。	0 団体	0 円
	D	新たな担い手（ボランティア）の養成・組織化	福祉やボランティア活動に興味・関心のある地域住民を募り、ボランティア入門講座の実施や組織化をおこなう。	3 団体	235,000 円
2-① 学びあう活動	A	地域福祉、福祉課題別の理解促進のための研修	役員やボランティア、地域住民等を対象に地域福祉や高齢や障害、子育て等に関する研修会を実施する。	3 団体	230,000 円
	B	介護教室や手話教室、車いす講習等の実技講習	役員やボランティア、地域住民等を対象に当事者への理解を深めるための実技講習を実施する。	0 団体	0 円
	C	まちづくり点検調査などの体験学習	役員やボランティア等が様々な体験グッズ等を用いて、地域内を廻ることにより高齢や障害についての理解を深めるとともに、結果を地域住民に発信する。	0 団体	0 円
	D	子ども達と地域をつなぐ福祉教育	地域のサロンに、子どもたちが出向き高齢者や障がい者との交流活動や、学校の空き教室を活用した出前カフェの実施、また、地域の福祉マップ作りを作成することにより自分のまちを知り、理解するきっかけとなるようにする。	10 団体	302,000 円
2-② ふれあう活動	A	当事者の交流活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等、当事者同士の交流を図る。	12 団体	693,000 円
	B	当事者の交流活動地域行事参加促進	高齢者や障がいのある人等が地域行事に気軽に参加できるように、呼びかけや行事内容を工夫する。	7 団体	450,000 円
	C	福祉施設との交流活動	地域にある福祉施設との交流を深め、施設行事等への協力をおこなったり、地域活動の充実を図っていくために連携・協働をすすめる。	1 団体	15,000 円
2-③ 支えあう活動	A	見守り訪問活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等を定期的に訪問し見守るとともに、相談を受けたり必要に応じて関係機関へつなぐ活動。	1 団体	50,000 円
	B	居場所づくり活動	小地域で行う高齢者、子育て等のサロン活動。また、サロン活動リーダー・スタッフとして市内各地で支援する活動。	26 団体	2,001,000 円
計				70 団体	4,776,000 円

12. 歳末たすけあい運動の実施

(1) 協力団体

- ・ 亀岡市自治会連合会
- ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会
- ・ 亀岡ボランティア連絡協議会
- ・ 日本ボーイスカウト京都連盟亀岡第1団

- ・ガールスカウト京都府連盟第57団
 - ・亀岡市母子寡婦福祉会
 - ・亀岡市PTA連絡協議会
 - ・亀岡市老人クラブ連合会
 - ・亀岡市社会福祉施設協議会
 - ・京都学園大学教育修学支援センター
- (順不同)

(2) 募金の使途

項 目	内 容	金 額 (円)
在宅 (見舞金)	968件	4,930,000
施設配分	みかん箱48箱・タオル・石鹸・ティッシュペーパー・トイレトペーパー	144,000
年末年始事業配分	各自治会・地区社協・地区民児協	2,299,000
歳末たすけあい運動啓発	広報誌掲載	50,000
事務費	印刷製本、消耗品等、団体協力費	386,584
次年度繰越金	共同募金会へ	105,316
合 計		7,914,900

※事務費・次年度繰越金については、共同募金会会計にて対応

○在宅 (見舞金) の内訳

配 分 対 象	対象者数 (人)	配分単価 (円)	金 額 (円)
寝たきり・認知症高齢者	94	5,000	470,000
重度障害児者	798		3,990,000
交通遺児	12		60,000
被爆・公害患者	16		80,000
その他支援を必要とする家庭	66		330,000
合 計	986		4,930,000

○配分先施設の内訳

・青葉学園	・かめおか作業所	・第二亀岡園
・花ノ木医療福祉センター	・第二かめおか作業所	・第二亀岡園ケアハウス
・松花苑かしのき	・第三かめおか作業所	・亀岡友愛園 (軽費老人ホーム)
・ワークスおーい	・太陽共同作業所	・亀岡友愛園 (特別養護老人ホーム)
・圭の家	・亀岡園	・関西盲導犬協会盲導犬訓練センター
・ケアハウス朝野	・こもれび	・陽生苑
・亀岡たなばたの郷		

(3) 募金収入

項 目	金 額 (円)
地 域 募 金	6,651,624
篤 志 者 寄 付 金	782,866
街 頭 募 金	279,720
小 計	7,714,210
前年度繰越金	200,690
合 計	7,914,900

○地域募金の内訳

町 別	金 額 (円)	町 別	金 額 (円)
亀岡東部地区	488,900	大井町	664,300
亀岡中部地区	454,900	千代川町	611,400
亀岡西部地区	408,360	馬路町	152,600
東別院町	168,900	旭町	85,600
西別院町	87,600	千歳町	134,400
曾我部町	329,700	河原林町	96,000
吉川町	67,200	保津町	204,400
穂田野町	281,200	篠町	1,158,286
本梅町	175,900	東つつじヶ丘	146,800
畑野町	76,378	西つつじヶ丘	292,800
宮前町	150,400	南つつじヶ丘	306,000
東本梅町	72,400	合 計	6,651,624

○篤志者寄付金内訳 (順不同・敬称略)

篤志者氏名	金 額 (円)
中村 功	10,000
河原林 正昭	10,000
河井 久勝	3,000
田中 義孝	10,000
旭尋常小学校昭和19年度卒業生	14,037
亀岡金融会	20,000
J A京都亀岡女性部 八重桜の会	50,000
亀岡建設業協会	10,000
亀岡市PTA連絡協議会	129,012
湯の花温泉観光旅館協同組合	10,000
天理教亀岡大教会	13,000
協同組合亀岡ショッピングセンター アミティ	10,000
亀岡ロータリークラブ	5,000
亀岡中央ロータリークラブ	5,000
社交ダンスサークルもみの木会	20,000
Hair Face SAIWAI Brainns	2,717
川東地区佛教会	150,000
宗教法人 大本 広報渉外課	64,495

篤志者氏名	金額(円)
亀岡商工会議所	20,000
亀岡市民生委員児童委員協議会	196,000
社協職員	25,500
ふれあいプラザ募金箱	105
匿名	5,000
合計	782,866

(4) 物品寄付 (敬称略)

氏名	寄付品
亀岡市PTA連絡協議会	タオル：587枚 石鹸：1,414個 ティッシュペーパー：155箱 トイレットペーパー：70ロール その他

(5) 年末年始事業

町名	事業実施者	内容	対象者	参加者数(人)
亀岡地区	亀岡地区東部社会福祉協議会	交流会(コーラス、ゲーム等)	ひとり暮らし高齢者	37
	亀岡地区中部社会福祉協議会	交流会(音楽鑑賞、健康体操)	ひとり暮らし高齢者	81
	下矢田町5自治会	腹話術、防火研修	ひとり暮らし高齢者 65歳以上	85
	亀岡地区西部自治会	歌謡ショー、昼食会、抽選会	ひとり暮らし高齢者	69
東別院町	東別院町自治会	みかん・干し柿の配布	ひとり暮らしの 70歳以上の高齢者	48
西別院町	西別院町自治会	おせち料理配食事業 児童図書カード等の配布	ひとり暮らし高齢者 母子父子家庭	26
曾我部町	曾我部町自治会	独居老人、父子母子家庭世帯 への配食サービス	ひとり暮らし高齢者 母子父子家庭	121
吉川町	吉川町自治会	新米配布(5kg)	ひとり暮らしの 75歳以上の高齢者	25
菫田野町	菫田野町地区社会福祉協議会	もちつき大会	全町民	300
本梅町	本梅町地区社会福祉協議会	もちつき大会	ひとり暮らし高齢者 母子父子家庭	70
畑野町	畑野町自治会	みかんとみそ玉の配布	ひとり暮らし高齢者	80
宮前町	宮前町地区社会福祉協議会	おせち料理配食事業、友愛訪問	ひとり暮らし高齢者	35
東本梅町	東本梅町自治会	高齢者と子供の交流、しめ縄作り	全町民	260

町名	事業実施者	内容	対象者	参加者数 (人)
大井町	大井町自治会	お茶漬けセットの配布、友愛訪問	ひとり暮らしの 70歳以上の高齢者	170
千代川町	千代川町自治会	親睦会(気功、ゲーム等)	高齢者・要支援高齢者	140
千代川町	千代川町自治会	親睦会(気功、ゲーム等)	高齢者・要支援高齢者	140
馬路町	馬路町自治会 馬路町民生委員児童委員協議会	花と果物の配布	ひとり暮らしの 70歳以上の高齢者	35
旭町	旭町自治会	高齢者と児童の交流	高齢者全般 児童・ボランティア	140
千歳町	千歳町自治会	サロンの開催、防犯防火勉強会	75歳以上の高齢者 独居高齢者世帯	120
河原林町	河原林町自治会	正月用(寄せ植え)づくり	85歳以上又はひとり暮らし高齢者	78
保津町	保津町社会福祉協議会	記念品と見舞金のお届け	独居高齢者・寝たきり高齢者、 障害者、低所得者	168
篠町	篠町自治会	もちと小豆と挨拶状(友愛訪問)	民生児童委員訪問家庭 高齢者支援必要な家庭	420
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘自治会	もちつき交流会、もち・みかんの配布	75歳以上高齢者 新生児家庭	450
西つつじヶ丘	西つつじヶ丘自治会	もち配布・家庭訪問。安否確認	ひとり暮らし高齢者 母子父子家庭	141
南つつじヶ丘	南つつじヶ丘自治会	もち配布、新春交流会	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	140
合計	24団体			3,239